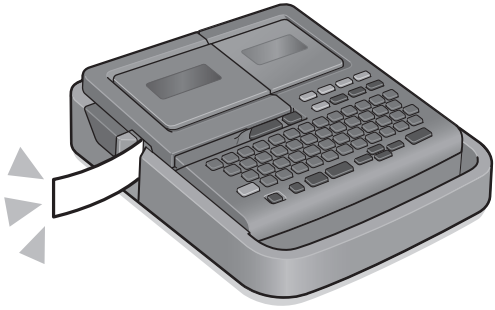
TEPRA

PRO

TAPE



SR250

取扱説明書

KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR250 をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR250 の使いかたを、「準備編」「使いかた編」「機能編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テプラ」PRO SR250 を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

‼注意‼

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テプラ」で得られるラベルについて
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
  なお、これによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、「KING JIM」、「テプラ」、「テプラ」PRO 、P テープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。
その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

⚠危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⃠ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠危険

電池の取り扱いについて

電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。

⚠警告

ACアダプタについて

同梱の専用ACアダプタ（AC0615J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。

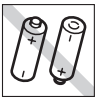
ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。

ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

電池の取り扱いについて

電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

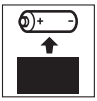


電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。

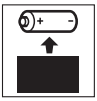
電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

その他

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

本機を分解、または改造しないでください。火災·感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

⚠注意

オートカッターについて

印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。

その他

本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。

電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

テープカートリッジ取り扱いについてのご注意

■ テープカートリッジを落としたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。

■ テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。

■ テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。
印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

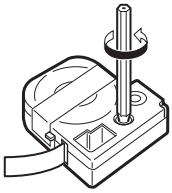
当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。なお、「エコマーク商品」（ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ）については、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「回収BOX」設置店までお持ちください。

テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

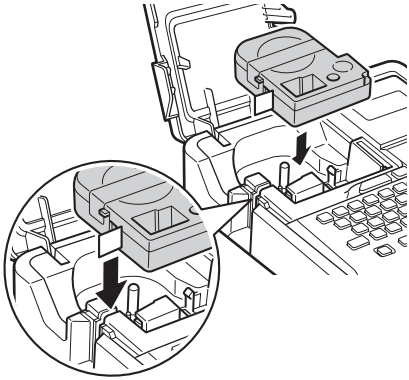
■ **セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る**

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。
インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ **正しく本機にセットする**

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。
正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。
新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。
テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ **セットした直後は必ず「テープ送り」をする（**シフト**+**印刷/テープ送り**）**

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。
「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。
参照☞P.27「5.テープ送りをする」

その他のご注意

■ **本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。**
■ ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
■ 直射日光のあたる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
■ 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
■ ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
■ 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
■ テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ（DL規格）は、お使いになれません。
■ 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに 印刷/テープ送り を押したりすることはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
■ テープ送りは、必ず シフト ＋ 印刷/テープ送り （＝テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張ったりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
■ テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
■ キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
■ テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
■ テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
■ オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
■ 長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
■ 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
■ 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
■ 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
■ 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備編
本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編
「使いかた編」では、文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作を説明しています。初めて「テプラ」PROシリーズをお使いになる方は、順を追って読まれることをおすすめします。

機能編
ラベルの見栄えをよくする機能や、ファイル機能など、「テプラ」をさらに使いこなしていただくための情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。「使いかた編」の内容を充分に理解されたうえでお読みくださるようお願いします。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表 記 】	【 説 明 】
❶、❷	操作の手順を示しています。
M、O	文字ボタンを示しています。
書式、スタイル、モード	機能ボタンを示しています。
←、↑、↓、→	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照☞	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
‼注意‼	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：　本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
テープカートリッジ取り扱いについての
ご注意.....4
テープカートリッジをセットするときの
ご注意.....5
その他のご注意 6
本書の使いかた.....7
本書の構成.....7
本書の見かた.....7
同梱品の確認 10
別売品のご案内..... 11
まず使ってみよう…
すぐ使いたい人のために 12
「テプラ」PRO SR250の特長 14

準 備 編

各部の名前とはたらき..... 16
本機各部の名前（表）..... 16
本機各部の名前（内部）..... 16
本機各部の名前（裏）..... 17
操作パネルの名前とはたらき 18
ディスプレイの見かたとはたらき..... 20
ディスプレイ（画面）の見かた 20
使う前の準備 22
1. ACアダプタを接続する 22
2. 電池（別売）を入れて
使用するときは..... 22
3. テープカートリッジをセットする.... 24
4. 電源を入れる 26
5. テープ送りをする..... 27

使いかた編

手順どおりに作ってみよう
（文字入力～ラベルの完成まで）..... 30
文字入力をはじめる前に..... 30
1. ひらがな・カタカナを入力する 31
2.「!」などを入力する 32
3. 漢字を入力する 33
4. 英数字を入力する..... 35
5. スペースを入力する 36
6. 記号を入力する 37
7. 印刷イメージを確認する
（プレビュー）..... 38
8. 印刷する 39
9. ラベルを貼る 40
10. 使い終わったら〈電源を切る〉..... 41
文章を作る..... 42
カーソルボタンの使いかた 42
文章を入力する 42
文字を削除/挿入する 43
すべての文章を消去する..... 43
行を増やす（改行）..... 44
新しい行を作る 44
文字を次行に移動する 45
改行を取り消す 45
段落を増やす（改段落）..... 46
新しい段落を作る..... 46
段落を分割する 47
特定の段落を消去する 47

機能編

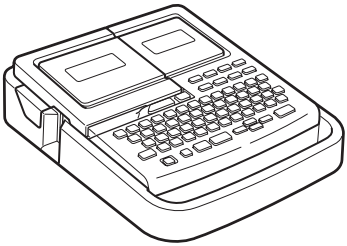
ラベルの向きを変える（縦・横）..... 50
縦・横ボタンを使う 50
文字サイズを変更する..... 52
文字サイズ（文字サイズ）を使う..... 52
ラベルの見栄えをよくする
～装飾機能を使おう～..... 53
機能を指定する 54
メニュー一覧 57
文章書式 57
段落スタイル..... 58
文字モード..... 60
機能の説明..... 61
文章書式 61
段落スタイル..... 63
文字モード..... 66
文章を呼び出す・登録する（ファイル）..... 68
ファイルメニュー..... 68
ファイルを登録する 68
ファイルを呼び出す 69
ファイルを消去する 69
読みのわからない漢字を入力する
（コード入力）..... 70
環境設定を変更する 71
環境設定メニュー一覧 71
ディスプレイの濃度を調整する..... 72
印刷濃度を調整する 72
「自動カット」を設定する..... 73
各種の初期値（保存値）を設定する 74
保存値を変更する..... 75
本機を初期化する..... 76
初期化する 77
デモ印刷をする..... 78

付録

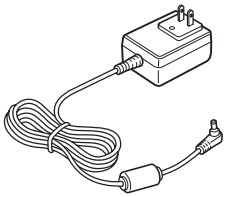
メニュー一覧 80
　記号メニュー一覧 81
　テープ送りメニュー一覧 82
　消去メニュー一覧 82
テープカートリッジを使いわける 83
　転写テープを印刷する 84
　転写テープの文字を転写する 84
こんな表示が出たときは 85
　ディスプレイが消えたときは 85
　エラーメッセージが表示されたときは .. 85
故障かな？と思ったら 87
　正常な動作をしない 87
　ON/OFFを押してもディスプレイに何も表示されない 87
　ディスプレイが消える 87
　印刷/テープ送りを押しても何も印刷されない .. 87
　文字がきちんと印刷されない 88
　ラベルを印刷後、自動カットされない .. 88
　文章の途中までしか印刷されない 88
　ファイルの内容が消えてしまった 89
　ラベルを貼り付けることができない 89
お手入れについて 90
　ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う 91
入力文字一覧表 92
　文字ボタン配列 92
　入力文字表 92
漢字変換表 93
　JIS第1水準 93
　JIS第2水準 97
　その他 98
記号一覧表 99
ローマ字変換表 103
おもな仕様 104
索引 106
アフターサービスについて ..... 巻末

同梱品の確認

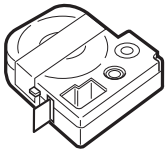
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。



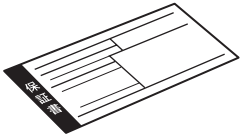
「テプラ」PRO SR250本体



ACアダプタ（AC0615J）

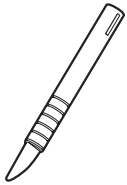


試用PROテープカートリッジ
（12mm幅）



保証書
（箱の側面に添付）

SR250取扱説明書（本書）



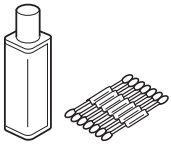
転写スティック（SR9L）

MEMO

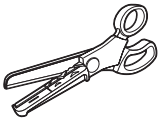
本機には、電池は同梱しておりません。単3形アルカリ乾電池（6本）をお買い求めください。
その他の乾電池は使用できません。

別売品のご案内

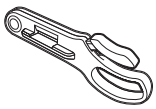
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングキット（RC15）
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



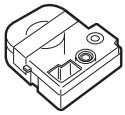
トリマー（RT36W）
ラベルのカドを丸くカットして、はがれに強い、きれいなラベルに仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。
対応ラベル：4～36mm幅
※本機の対応ラベルは4～18mm幅です。



ハーフカッター（RH24）
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。
対応ラベル：4～24mm幅
※本機の対応ラベルは4～18mm幅です。

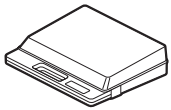
システムバッグ（SR8B）
ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用したクッション性に優れたバッグです。「テプラ」PRO本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。

テープカートリッジケース（SR4TH）
A4ボックスサイズにテープカートリッジ（12mm幅40個分）が収納可能です。４つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。



ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）
「テプラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。

ラベルラミネーター(RL18)
ラベル表面に透明のラミネートを施し、表面を保護します。薬品、油、こすれなどからラベルを守ります。
対応ラベル：9～18mm幅
※4mm幅、6mm幅のテープには対応していません。



システムトランク（SR9BTN）
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO本体とテープカートリッジ、同梱品、別売品などが収納可能です。

システムケース（SR9H）
A4ボックスサイズに「テプラ」PRO本体とACアダプタ、テープカートリッジ（12mm幅10個分）などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（アドレス http://www.kingjim.co.jp/）をご覧いただくか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

まず使ってみよう…すぐ使いたい人のために

準備

ラベル作成の準備をします。**参照☞P.22「使う前の準備」**

❶ ACアダプタを本機に接続する

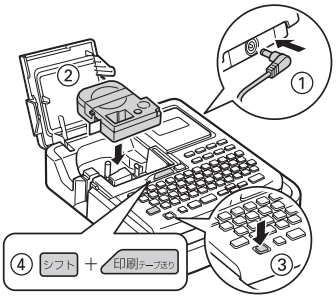
❷ テープカートリッジをセットする

上カバーをしっかり閉じてください。

❸ 電源を入れる

❹ テープ送りをする

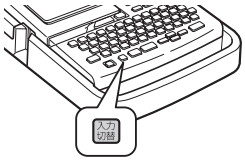
テープカートリッジをセットした直後は必ずテープ送りをしてください。



文字を入力する（例：伊藤）

印刷する文字を入力します。**参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」**

❶ 入力切換を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



ローマ字入力	かな入力

❷ 文字を入力する→仮確定文字（ネガ表示）で入力されます

1いとう

ローマ字入力　：I(い)、T(か)、O(ら)、U(な)

かな入力　　：E(い)、S(と)、4(う)

❸「伊藤」が表示されるまで変換スペースを押す

いとう
伊藤

候補が表示されます。

変換スペースを押すたびに候補が変わります。

❹ 選択改行を押す→「伊藤」が確定します

1伊藤

行頭マークが1に変わります。

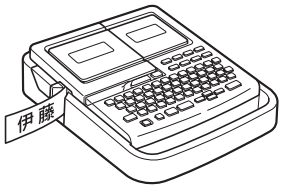
さらに、外枠をつけたり、書体などを変更するとラベルの見栄えが良くなります。
参照☞P.49「機能編」

ラベルの向きを変えるには：**参照☞P.50**
文字のサイズを変更するには：**参照☞P.52**

印刷する

❶ 印刷テープ送り **を押す→ラベルが印刷されます**

印刷終了後、テープは自動カットされます。
テープは絶対に手で引っ張らないでください。
参照☞P.39「8. 印刷する」



ラベルを貼る

❶ **裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける**
参照☞P.40「9. ラベルを貼る」

「テプラ」PRO SR250の特長

■ 6文字×2行の液晶表示

6文字×2行の液晶画面で、2行印刷も見やすく表示。ラベルの作成がスムーズにできます。また、印刷イメージが見やすくなりました。

■ ダイレクトキー搭載！

ダイレクトキーで「縦・横」、「文字サイズ」を簡単に変更できます。

■ 転写スティック付きで、転写テープも使えます

転写テープに対応した機種です。転写スティックが同梱されています。

■ PROテープ4～18mm幅テープに対応！

さまざまな用途に適したテープも充実。名前付けに便利な極細4mmテープから、ファイルの背表紙などに最適な18mm幅テープまで、豊富な種類のPROテープカートリッジに対応しています。

■ オートカッターで手間いらず！

自動的にラベルをカットするオートカッターを装備。印刷後のカット操作が不要です。
※ 一部対応できないテープがあります。

■ 楽しい書体を搭載！漢字2書体＋かな3書体＋英数3書体

「明朝体」「ゴシック体」の基本書体に加え、かな書体専用の「ハッピ体（まる文字）」、英数書体専用の「BR体」も搭載。表現豊かなラベル作りを演出します。

■ 6行印刷・改段落が可能！

テープ幅により最大6行まで印刷ができます。
改段落を使えば6行×2段落のラベルが作れます。

■ 豊富な記号・外枠・表組み

数字や単位など実用的な記号や、荷物、環境、警告用などオフィスや家庭で活用できる便利な絵文字が満載。ラベルを演出する外枠は75種類、表組みは4種類を搭載しています。

■ 2桁数字搭載

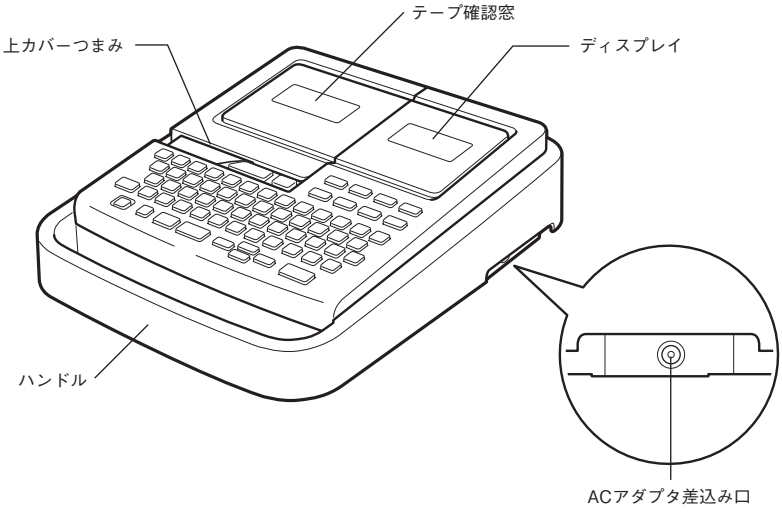
「たて書き」のラベルで日付や住所などに2桁数字を使用すると、きれいに揃った印刷が可能です。

準 備 編

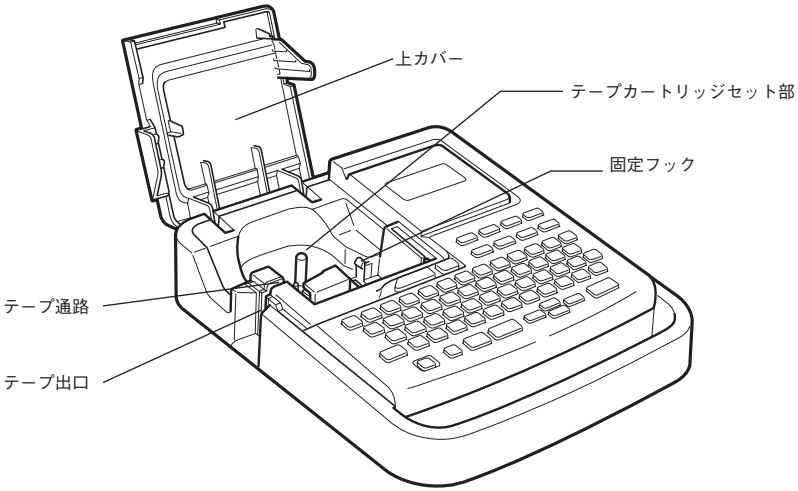
本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

各部の名前とはたらき

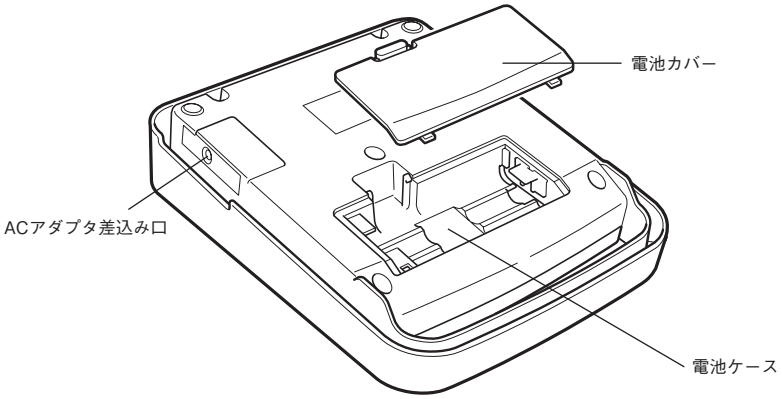
本機各部の名前（表）



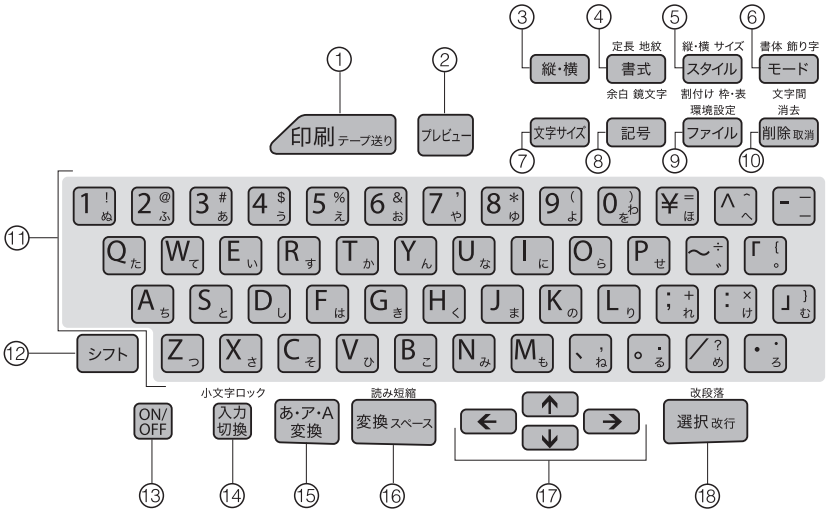
本機各部の名前（内部）



本機各部の名前（裏）



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。シフト+[ ]となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① 印刷テープ送り **（印刷）**
入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。
参照☞P.39

シフト+印刷テープ送り **（＝テープ送り）**
テープを約18mm空送りしたり、カットします。
参照☞P.27

② プレビュー **（プレビュー）**
印刷イメージ全体を確認できます。
参照☞P.38

③ 縦・横 **（縦・横）**
たて書き/よこ書きを切り換えます。
参照☞P.50

④ 書式 **（文章書式）**
「文章書式」（ラベルの長さ、地紋、余白、鏡文字）を指定します。
参照☞P.53

⑤ スタイル **（段落スタイル）**
「段落スタイル」（文字サイズ、縦・横、割付け、外枠・表組）を指定します。
参照☞P.53

⑥ モード **（文字モード）**
「文字モード」（書体、飾り字、文字間）を指定します。
参照☞P.53

⑦ 文字サイズ **（文字サイズ）**
文字サイズを指定します。**参照☞P.52**

⑧ 記号 **（記号）**
記号を入力します。
参照☞P.37

⑨ ファイル **（ファイル）**
文章を登録・呼出・消去します。
参照☞P.68

シフト+ファイル **（＝環境設定）**
画面の表示濃度や印刷の濃度、自動カットの有無、各種保存値を変更します。
参照☞P.71

⑩ 削除/取消 **（削除、取消）**
カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作を取り消します。
参照☞P.43

シフト + 削除/取消 **（＝消去）**
段落や文章を消去します。
参照☞P.43、47

⑪ **文字ボタン（T/か、E/い、P/け、R/す、A/ち など）**
文字を入力します。
参照☞P.30

⑫ シフト **（シフト）**
機能ボタンと一緒に押すと、黄色い文字で書かれた機能がはたらきます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力します。

⑬ ON/OFF **（ON/OFF）**
電源を ON/OFFします。
参照☞P.26、41

⑭ 入力切換 **（入力切換）**
入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。
参照☞P.31

「ABC入力」時のみ
シフト + 入力切換 **（＝小文字ロック）**
小文字入力状態に切り換えます。
参照☞P.35

⑮ あ・ア・A 変換 **（無変換）**
ネガ表示のひらがなを、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
参照☞P.31

漢字変換や機能選択は、1つ前の選択肢を表示します。

シフト + あ・ア・A 変換 **（＝文字変換/コード変換）**
ネガ表示のひらがなを、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。
参照☞P.31
ネガ文字がないときは、コード入力で漢字を入力する画面になります。
参照☞P.70

⑯ 変換/スペース **（漢字変換、スペース入力）**
ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。漢字変換時は、次の変換候補を表示します。
参照☞P.33、36

シフト + 変換/スペース **（＝読み短縮）**
漢字変換中、変換対象の「読み」を短縮します。
参照☞P.34

⑰ ← ↑ ↓ → **（カーソルボタン）**
カーソルや選択候補を上下左右に移動します。
参照☞P.42

シフト + ← ↑ ↓ → **（＝カーソルジャンプ）**
カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。
参照☞P.42

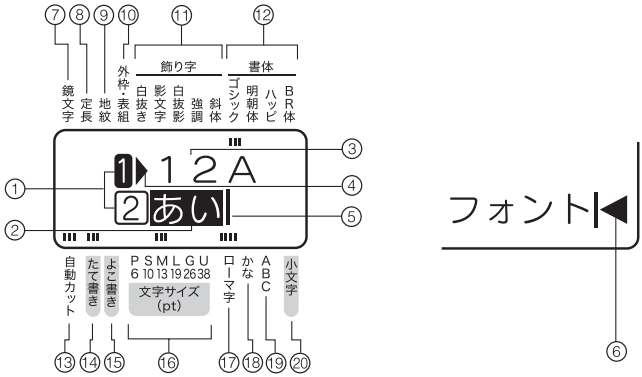
⑱ 選択/改行 **（選択、改行）**
機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ表示の文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。
参照☞P.44

シフト + 選択/改行 **（＝改段落）**
新しい段落を作ります。
参照☞P.46

ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

■ テキスト画面



① **行頭マーク（1 2…☒、1 2…☒）**
行頭に表示され、何行目かを示します。 1、2は印刷できる行を表し、1、2はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。
☒、☒は印刷できない行を表しています。☒が表示されているときは、印刷できません。
参照☞P.44

② **ネガ文字（例：あい）**
仮確定の文字で、印刷されません。変換スペースボタンで、漢字にあっ・A変換ボタンでひらがな、カタカナ、英字に変換できます。

③ **確定文字（例：12A）**
入力が確定した文字で、印刷されます。

④ **文字モード指定マーク（▶）**
行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。
参照☞P.55

⑤ **カーソル（|）**
操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。
参照☞P.42

⑥ **フルメモリーマーク（◀）**
入力可能文字数（約125文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑦ **鏡文字インジケーター**
鏡文字印刷が設定されているときに点灯します。

⑧ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑨ **地紋インジケーター**
地紋印刷が指定されているときに点灯します。

⑩ **外枠・表組インジケーター**
外枠･表組が指定されているときに点灯します。

⑪ **飾り字インジケーター**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに点灯します。

⑫ **書体インジケーター**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。

⑬ **自動カットインジケーター**
自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。

⑭ **たて書きインジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。

⑮ **よこ書きインジケーター**
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。

⑯ **文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字のサイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数（pt）を表しています。
*1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。

⑰ **ローマ字入力インジケーター**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。

⑱ **かな入力インジケーター**
「かな入力」状態のときに点灯します。

⑲ **ABC入力インジケーター**
「ABC入力」状態のときに点灯します。

⑳ **小文字入力インジケーター**
シフトを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。
参照☞P.35

使う前の準備

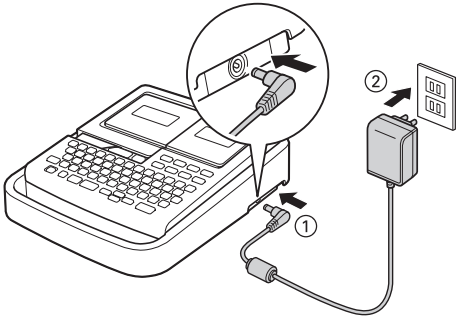
1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ（AC0615J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

❶ ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む

※ 差し込みが不充分だと電源が入らない場合があります。

❷ ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



‼注意‼

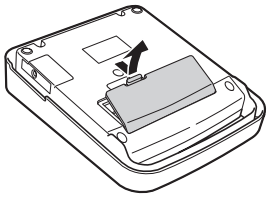
- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機に単3形アルカリ乾電池6本（別売）をセットします。電池は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときに電源とすることができます。また、外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

❶ 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

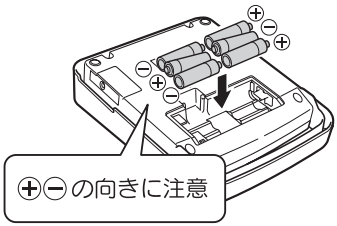


‼注意‼

必ず、電源を切ってからおこなってください。

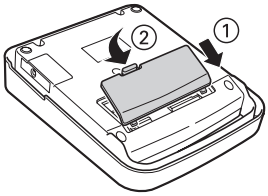
❷ 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3形アルカリ乾電池6本を入れます。



❸ 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のミゾに合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。



‼注意‼

- 本機には単3形アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
- 本機にセットする電池（別売）は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときに電源とすることができます。電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AC0615J）をお使いください。
- 電池交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。また、本機から電池をはずし、約2分以上放置すると、データはすべて失われます。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を本機に正しくセットして使用・保管することをおすすめします。

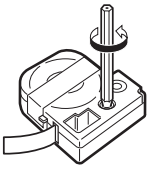
MEMO

- 電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池（6本）に交換するか、ACアダプタ（AC0615J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3形アルカリ乾電池（6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、ACアダプタ（AC0615J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従ってください。

3. テープカートリッジをセットする

❶ インクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、たるみを取ってください。



❷ 上カバーを開ける

上カバーのつまみ部分を持ち上げてカバーを開けます。

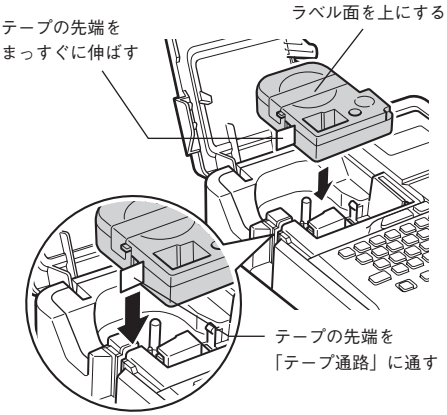
‼注意‼

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。

❸ テープカートリッジをセットする

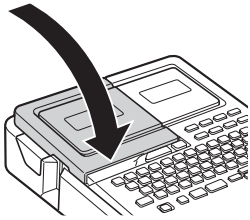
ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。



❹ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押してしっかり閉じます。



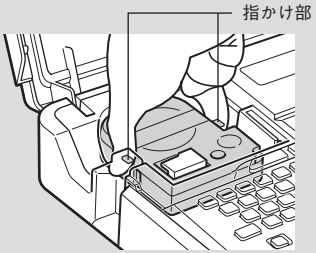
‼注意‼

- テープカートリッジをしっかり押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーはしっかり閉じてください。

MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



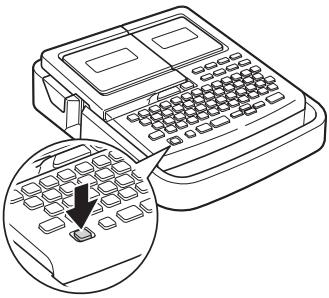
!!注意!!

- テープカートリッジをしっかり押し込まずにカバーを閉めると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーをはずしたままご使用にならないでください。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mmの5種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
  参照☞P.44「テープ幅と印刷できる行数」
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
- テープカートリッジを交換するときは、電源を切ってからおこなってください。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「テープ確認！」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

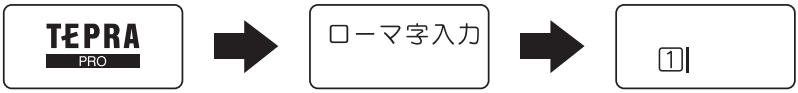
4. 電源を入れる

電源を入れる前にもう一度確認してください。
- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

❶ ON/OFFを押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。



※ 設定されている入力状態が約1秒間表示されます。

※ 行頭マーク（1）とカーソル（|）が表示されます。

すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。
参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。ON/OFFをもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。
電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。使わないときはこまめに電源を切るようにしましょう。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

❶ シフトを押しながら 印刷テープ送り （＝テープ送り）を押す

「テープ送り」メニューが表示されます。

❷ ↑ ↓で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

❸ 選択改行を押す

「テープ送り」の場合はテープが約18mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

‼注意‼

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンのたるみが取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

続いて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。
参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編

～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷、改行など「テプラ」の基本操作を確認してください。
続いて文章を段落に分けるなど、レイアウトを工夫する機能を確認しましょう。

手順どおりに作ってみよう（文字入力～ラベルの完成まで）

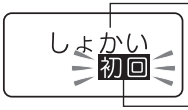
右のサンプルラベルを手順どおりに作ると、文字入力からラベルの印刷までの基本的な操作がカンタンに覚えられます。

おとくなセット！
初回限定Box

文字入力をはじめる前に

入力には、以下の画面とボタンで操作します。

■変換画面の見かた



①入力文字
入力した仮確定文字を表示します。

②変換候補
仮確定文字の変換候補を表示します。候補は、変換スペースボタンで選び、選択改行ボタンで確定します。

文字の変換中に使用するボタン

ボタン名	機能
文字ボタン	選択されている変換候補を確定し、テキスト画面に文字を入力する
変換スペース	１つ後ろの変換候補の選択（入力直後は最初の変換候補の選択）
シフト＋変換スペース	変換候補の読みを短くする
選択改行	選択されている変換候補を確定し、テキスト画面へ戻る
↑、←	1つ前の変換候補の選択
シフト＋↑、シフト＋←	最初の変換候補の選択
→、↓	1つ後ろの変換候補の選択
シフト＋→、シフト＋↓	最後の変換候補の選択
あ/ア/A 変換	１つ前の変換候補の選択（入力直後はひらがな、カタカナ、英字への変換）
削除取消、シフト＋削除取消	漢字変換を取り消す

シフト＋□となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

1. ひらがな・カタカナを入力する

読みを入力してから[あ・ア・A 変換]を1回押すとひらがなに、[あ・ア・A 変換]を2回押すとカタカナになります。

例：

❶ [入力切換]を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

ローマ字入力	かな入力

❷「おとくな」を入力する

ローマ字入力：O[ら]、T[か]、O[ら]、K[の]、U[な]、N[み]、A[ち]

かな入力　：6[お]、S[と]、H[く]、U[な]

1おとくな

「おとくな」がネガ表示されます。

❸ [あ・ア・A 変換]を押し、[選択改行]を押す

1おとくな

「おとくな」が確定します。

❹「せっと」を入力する

ローマ字入力：S[と]、E[い]（せ）　T[か]、T[か]、O[ら]（っと）

かな入力　：P[せ]（せ）　シフト＋Z[っ]（っ）　S[と]（と）

1くなせっと

❺ [あ・ア・A 変換]を2回押し、[選択改行]で確定する

1くなセット

「セット」が確定します。

MEMO

- 入力した直後に[あ・ア・A 変換]を押すと、押すたびに、ローマ字入力の場合は「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変わり、かな入力の場合は「ひらがな→カタカナ」の順に変わります。また、[シフト]を押しながら[あ・ア・A 変換]を押すと、押すたびに、ローマ字入力の場合は「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変わり、かな入力の場合は「カタカナ→ひらがな」の順に変わります。
  変換後は、[選択改行]を押して確定してください。
- 文字を間違えたときは[削除取消]ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- [あ・ア・A 変換]を押す変換操作は、カーソル位置までのネガ文字に対して有効です。カーソル位置より後ろのネガ文字は、変換できません。
- 変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字が自動的に確定するため、確定する[選択改行]ボタンを省略できます。
- 「読み」を入力した直後に[選択改行]を押すと、ひらがなのまま確定します。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
  参照 P.103「ローマ字変換表」

特殊なひらがな・カタカナの入力方法

- かな入力の場合
  「を・ヲ」…[シフト]を押しながら[0 わ を]を押す

参考

濁音や拗音の入力について

濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

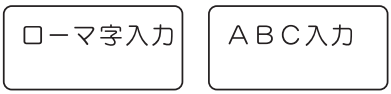
	濁音（「ざ」「ば」など） 半濁音（「ぱ」「ぺ」など）	拗音（「ゃ」「ぁ」など） 促音（「っ」）
ローマ字入力	濁音・半濁音用のスペルで入力します。 **参照☞P.103「ローマ字変換表」**	次のいずれかの方法で入力します。 • シフトを押しながら文字ボタンを押す。 例：シフト＋A ち …「ぁ」 •「きゃ」（K の、Y ん、A ち）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 **参照☞P.103「ローマ字変換表」** • 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例：S と、A す、K の、K の、A ち …「さっか」 • L ゃ を押してから通常の文字ボタンを押す。 例：L ゃ、T か、U な …「っ」、 L ゃ、A さ …「ぁ」
かな入力	仮確定の清音のあとに、~ へ や 「 。 を入力します。	シフトを押しながら文字ボタンを押します。

2.「!」などを入力する

操作パネルに表記された表記号「!」「*」「.」などは、シフトを押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

例：

❶ 入力切換を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ



❷ シフトを押しながら ! ぬ を押す

「!」が確定された状態で入力されます。

❸ 選択改行を押して改行する

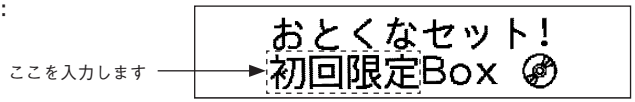
MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「~」「／」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

3. 漢字を入力する

「読み」を入力したあと、変換スペースを押すと漢字に変換できます。

例：



❶「しょかい」を入力する

ローマ字入力：S そ、H く、O ら、K の、A ち、I に

かな入力　：D し、シフト＋8 よ、T か、E い

「しょかい」がネガ表示されます。

❷ 変換スペースを押す

1番目の候補が点滅します。

変換スペースを押すたびに、候補が次々と表示されます。熟語と単漢字の両方の候補があるときは、熟語から先に表示されます。

❸「初回」が点滅表示されている状態で選択改行を押す

「初回」が確定します。

❹「げんてい」を入力する

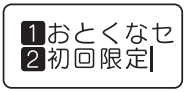
ローマ字入力：G こ、E い、N み、N さ、T か、E い、I に

かな入力　：; け、~ へ、Y ん、W て、E い

❺ 変換スペースを押す

1番目の候補が点滅します。

❻ 選択改行を押す



「限定」が確定します。

MEMO

- 操作手順❷で漢字の候補が表示されているときに、あ.ア.A 変換（または ← ↑ ）を押すと、前の候補が順番に表示されます。← ↑ ↓ →のボタンは、押し続けると表示が速くなります。シフトを押しながら ← ↑ を押すと一番最後の候補が、シフトを押しながら ← ↑ を押すと一番最初の候補が表示されます。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 変換をやめるときは削除取消を押します。

!! 注意 !!

- 一度に入力できる「読み」は16文字以内です。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾5文字だけとなります。
- 長い「読み」を入力すると変換効率が悪くなったり、うまく変換できないことがあります。10文字程度を入力したらいったん漢字に変換し、そのあとで次の読みを入力してください。

参考

漢字の「読み」を短くする（読み短縮）

「読み」の範囲が違い、目的の漢字に変換できないときは、シフト＋変換スペースで変換の対象とする「読み」を短くすることができます。

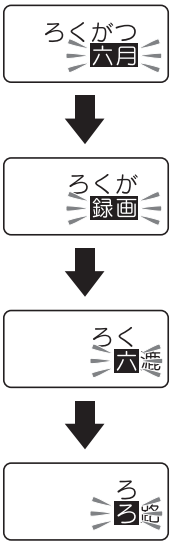
例：「ろくがつ」の読みを短くする

❶「ろくがつ」を入力して変換スペースを押す

1番目の候補が点滅します。

❷ シフトを押しながら変換スペースを押す

押すたびに読みが短くなり、順に「ろくが」、「ろく」、「ろ」という読みの候補が表示されます。



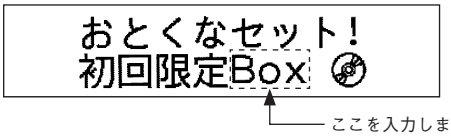
MEMO

変換を確定する最後の選択改行ボタンは省略できます。変換したあと、続けて次の文字ボタンを押すと、前の文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。

4. 英数字を入力する

「ABC入力」「ローマ字入力」にすると直接英数字を入力できます。小文字の入力には[シフト]ボタンを使います。文字ボタンに表記された英記号「¥」「〜」「／」なども文字ボタンを押して入力します。

例：



■ABC入力のとき

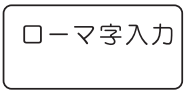
❶ [入力切換]を数回押して「ABC入力」を選ぶ

❷「Box」を入力する

[B]を押して、[シフト]を押しながら[O]、[X]を押します。「Box」が入力されます。

■ローマ字入力のとき

❶ [入力切換]を数回押して「ローマ字入力」を選ぶ



❷「Box」を入力する

[B]を押して、[シフト]を押しながら[O]、[X]を押します。「ぼx」がネガ表示されます。

❸ [シフト]+[あ・ア・A 変換]を押してアルファベットに変換する

「Box」が入力されます。

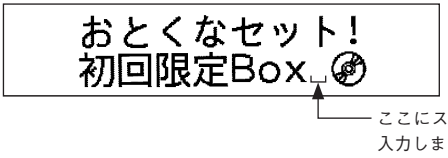
MEMO

- 「ローマ字入力」では、入力した直後に[あ・ア・A 変換]を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変わります。また、[シフト]を押しながら[あ・ア・A 変換]を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変わります。
- **小文字ロック**
  「ABC入力」時に、[シフト]を押しながら[入力切換]を押すと、小文字入力状態に切り換わり、[シフト]を押していないときに小文字入力インジケーターが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度[シフト]を押しながら[入力切換]を押します。小文字ロック状態はインジケーターで確認できます。
  参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

5. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「␣」（半角スペース）が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：



❶ ネガ文字がないことを確認する

❷ 変換スペースを押す

半角スペースが入力されます。

MEMO

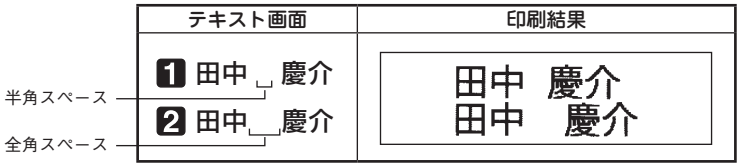
- ネガ文字があるときに変換スペースを押すと、漢字に変換されます。
- テキスト画面には「␣」が表示されますが、印刷時にはスペース（空白）として扱われ、印刷されません。

参考

全角スペース

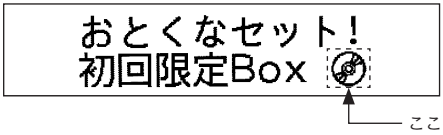
スペースには半角スペース（␣）のほかに、全角スペース（＿）があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、記号を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「＿」を選択します。

参照☞P.37「6.記号を入力する」



6. 記号を入力する

例：



❶ 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

❷ ↑ ↓で「音楽」を選ぶ

❸ 選択改行を押す

「音楽」の記号が表示されます。

❹ ← →で「♪」を入力する

❺ 選択改行を押す

「♪」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは、記号ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。
  参照☞P.99「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは削除取消または記号を押し、操作を戻します。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。
  参照☞P.51「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。

  罫：罫入力記号
  縦罫線を入力します。
  参照☞P.64「外枠・表組」

  ␣：全角スペース
  全角のスペースを入力します。
  参照☞P.36「全角スペース」

7. 印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

❶ テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

❷ [プレビュー]を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。
ディスプレイの左側には印刷されるラベルの長さが表示されます。
プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。

MEMO

- プレビュー中に[あ/ア/A 変換]、[変換スペース]、[←][↑][↓][→]のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- プレビューを途中でやめるときは[削除取消]または[選択改行]を押してください。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま[選択改行]を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

!! 注意 !!

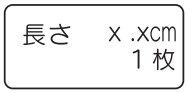
- プレビューに表示が切り換わるのは、テキスト画面のときだけです。
- テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」や「テープ幅を確認して！」と表示され、プレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。
- プレビュー時に表示されるラベルの長さは誤差が生じることがあります。

8. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、上カバーがしっかり閉じているか、ACアダプタ（AC0615J）を正しく接続しているかを確認してください。

❶ 印刷テープ送り を押す

「準備中」と表示された後、ラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。
印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。



MEMO

- 印刷を途中でやめるときは削除/取消を押してください。
- 印刷中にON/OFF（ON/OFF）を押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少」を指定すると、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがありますが、ラベル自体には影響ありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り　強行」と表示されます。このまま選択/改行を押すと、定長を解除して印刷を強行します。

!!注意!!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・蓄光ラベル・りぼんは「自動カット」を「しない」で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
  参照☞P.73「「自動カット」を設定する」
  参照☞P.83「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、正常に印刷できません。動作中は上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- テープカートリッジをセットしていないとき、または正しい位置にセットしていないときには、「テープ無し！」や「テープ幅を確認して！」と表示され、印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- 文字数が多く定長サイズ内に収まらない場合は、「定長→字余り　強行？」が表示されます。この場合は印刷テープ送りまたは選択/改行以外のボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。印刷テープ送りまたは選択/改行を押すと定長を解除して印刷します。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。

9. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

❶ 裏紙をはがす

❷ しっかりとこすって貼り付ける

!! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものや、透明で見えにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- **「テプラ」で得られるラベルについて**
  塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

MEMO

- オプションのトリマー（RT36W）を使うと、印刷したラベルのカドを丸くすることができます。
  参照☞P.11「別売品のご案内」
- 「テプラ」PROテープには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
  参照☞P.83「テープカートリッジを使いわける」

10. 使い終わったら〈電源を切る〉

❶ ON/OFF（ON/OFF）を押す

電源が入っている状態でON/OFF（ON/OFF）を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイルなどのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。

❷ ACアダプタ（AC0615J）をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。ただし、登録したファイル、入力した文章、学習内容などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

続いて

以上で基本的な操作は終了です。続いて複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「｜」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入･削除する位置を表します。

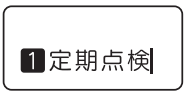
カーソルの移動にはカーソルボタン←↑↓→を使います。

本機のディスプレイには最大6文字×2行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
←	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
→	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
↑	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
↓	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
シフト+←	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
シフト+→	行末へ移動します。繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
シフト+↑	段落の先頭へ移動します。繰り返すと､前の段落の先頭へと移動します。
シフト+↓	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

シフト+□となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する



文字はキーボードの文字ボタンで入力し、変換スペースを押して漢字などに変換します。

参照☞P.30「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせ削除取消を押すと文字が削除されます。
文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。
例 :「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

❶ ←→で「期」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

❷ 削除取消を2回押して「定期」を削除する

カーソル位置は行頭になります。

❸「特別」を入力する

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約125文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

❶ シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押す
「消去」メニューが表示されます。

❷「全文消去」を選び、選択改行を押す
全文消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

全文消去は、入力したすべての文章が消去されます。文章の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。
  ファイル、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機を初期化してください。
  参照☞P.76「本機を初期化する」
- カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。
  参照☞P.47「特定の段落を消去する」
- 操作を途中でやめるときは、削除取消を押し、操作を戻します。

行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（選択改行を押します)。

■テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから18mmまでの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク1 2…☒、1 2…☒と、実質行頭マーク1 2…☒、1 2…☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒ ☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。 ☒の表示があるときに印刷テープ送りを押しても「行数オーバー」が表示されます。 ☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。

参照☞P.85「こんな表示が出たときはー行数オーバー」

新しい行を作る

行の終わりで選択改行を押すと、新しい行に入力することができます（改行)。

例 ：3 行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

❶「営業１課」を入力し、選択改行を押す

1営業１課

↓ 選択改行

1営業１課
2

2行目に行頭マークが表示されます。

❷「営業２課」を入力し、選択改行を押す

1営業１課
2営業２課

↓ 選択改行

2営業２課
3

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を入力します。

MEMO

ネガ文字があるときは、選択改行を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例 :「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介

↓ 途中で改行すると

営業1課
田中慶介

❶ ←→で「課」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

1 1 課|田中慶介

❷ 選択改行を押す

1 営業 1 課
2 田中慶介

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

MEMO

ネガ文字があるときは、選択改行を押しても改行できず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて削除取消を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例 :2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介

→ 途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部営業1課
田中慶介

❶ 3行目の行頭マーク3の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

2 営業部
3 営業 1 課

❷ 削除取消を押す

1 株式会社
2 営業部|営

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。

4行目の「田中慶介」が3行目になります。

MEMO

- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、削除取消を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク1 1は削除できません。

段落を増やす（改段落）

左下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。
本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に2段落まで作ることができます。

■段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦にならんだ形になります。

【ラベルは】

【画面上では】

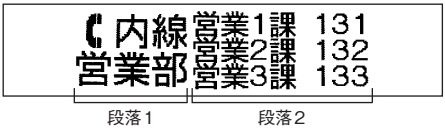
段落1
1 内線
2 営業部

段落2
1 営業1課␣131
2 営業2課␣132
3 営業3課␣133

新しい段落を作る

シフトを押しながら選択改行（＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

例 ： 2段落の文章を入力する



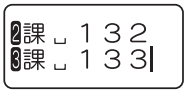
❶ 段落1を入力する

1行目「内線」
2行目「営業部」
と入力します。

❷ 文末にカーソルを合わせ、シフトを押しながら選択改行（＝改段落）を押す

新しい段落が発生し、1が表示されます。

❸ 段落2を入力する



1行目
「営業1課␣131」
2行目
「営業2課␣132」
3行目
「営業3課␣133」
と入力します。

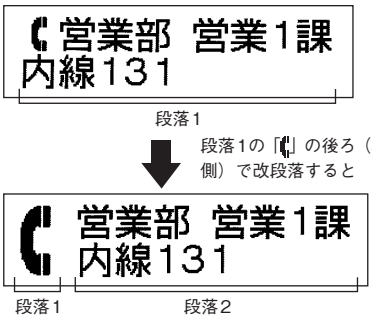
MEMO

- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



❶ 1行目「」の後ろ（右側）にカーソルを合わせる

❷ シフトを押しながら選択改行（＝改段落）を押す

カーソルより後ろ（右側）が改段落され新しい段落になります。

MEMO

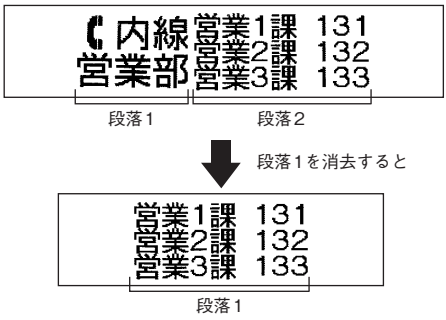
- ネガ文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。
- 段落スタイルの文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。

参照 P.63「段落スタイル」

特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。

例：段落1を消去する



❶ 消去する段落1にカーソルを合わせる

カーソルは消去する段落内ならどこでもかまいません。

❷ シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押す

「消去」メニューが表示されます。

❸ ↑ ↓で「段落消去」を選び、選択改行を押す

段落が消去され、テキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

- 「全文消去」を選択すると、入力したすべての文章が消去されます。
- 段落消去は、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落の書体や外枠など各機能の指定内容も消去されます。消去をおこなう前に、充分に確認してください。

MEMO

操作を途中でやめるときは、削除取消を押し、操作を戻します。

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」
「ラベルを見栄えよくしたい」
「入力した文章を保存しておきたい」
こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

ラベルの向きを変える（縦・横）

縦・横ボタンを使う

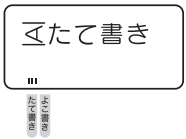
縦・横ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。

よこ書きラベル

たて書きラベル

❶ 縦・横を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。
「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。
テキスト画面では、文字の向きは変わりませんが、たて書き・よこ書きの指定はインジケーターで確認できます。
参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」

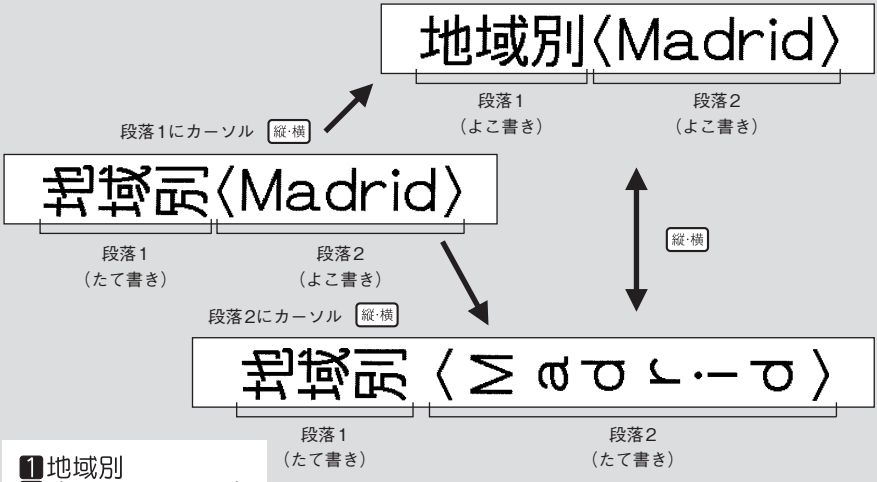


MEMO

- ネガ文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
- 段落スタイル機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
  参照☞P.53「指定範囲とカーソルの位置について」

!! 注意 !!

縦・横ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



1地域別
1〈Madrid〉

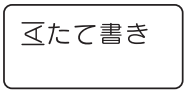
参考

たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例 ：「14回大会記録」を入力する

❶ 縦・横を押して、「たて書き」を指定する



❷ 記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

❸ 「2桁数字」を選び、選択改行を押す

2桁数字の候補が表示されます。

❹ 選択肢から「10」を選び選択改行を押す

ここでは「十の位」は10番台なので「10」を選びます。

10番台の選択肢が表示されます。

❺ 10番台の選択肢から「14」を選び、選択改行を押す

カーソル位置に「14」が表示されます。

❻ 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは削除取消または記号を押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、記号を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、記号ボタンで2桁数字は入力できません。

文字サイズを変更する

文字サイズ（文字サイズ）を使う

文字サイズ（文字サイズ）を使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを「おまかせフォーマット」の組み合わせから選択できます。

均等

中1c

選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようになります（文字サイズ（文字サイズ）を押したときに表示される画面イメージとは若干異なります）。

ラベルの行数	文字サイズ
1行	特大1a、大1b、中1c、小1d
2行	大大2a、中中2b、大細2c、大小2d、小大2e、細大2f
3行	均等3a、1大3b、2大3c、3大3d、1小3e、2小3f、3小3g
4行	均等4a、1大4b、2大4c、3大4d、4大4e
5-6行	サイズ固定

❶ 目的の設定になるまで文字サイズ（文字サイズ）を押す

文字サイズ（文字サイズ）を押すたびに選択肢が切り換わります。
カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。
シフトを押しながら文字サイズ（文字サイズ）を押すと、選択肢が逆順で切り換わります。

MEMO

- ネガ文字があるときは、「文字サイズ」を変更できません。
- 「文字サイズ」は段落スタイル機能の「文字サイズ」でも指定できます。
  参照☞P.63「文字サイズ」
- 文字サイズ（文字サイズ）ボタンは、カーソルのある段落に対する指定です。
- 初期設定値（均等）に戻すには、段落スタイル機能の「文字サイズ」で「均等」を指定します。
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューなどでイメージを確認することをおすすめします。

ラベルの見栄えをよくする~装飾機能を使おう~

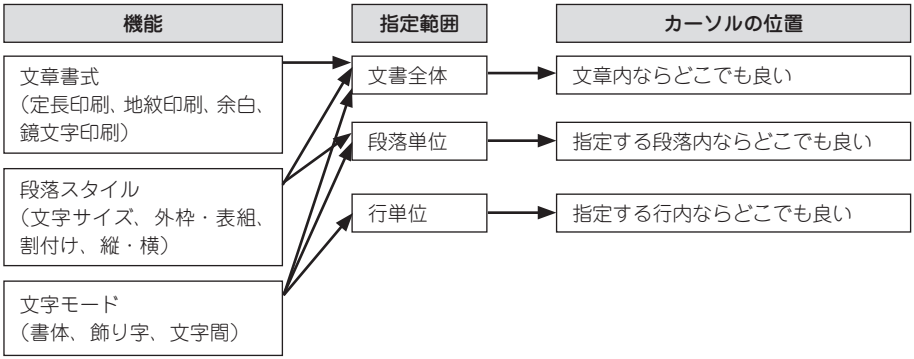
文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。
ラベルの見た目を変えるには、書式やスタイル、モードを押して表示されるメニューから機能を選択します。機能は、指定可能な範囲の違いによって、「文章書式」・「段落スタイル」・「文字モード」にボタン別に分類されています。

各ボタンの機能

機能の分類	指定範囲	機能	内容
書式	文章全体	定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。
		鏡文字印刷	鏡像で印刷するかどうかを指定します。
スタイル	段落単位 文章全体	文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
		割付け	各行の割付け位置を指定できます。
		縦・横	たて書きや、よこ書きにします。
モード	行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	白抜き、影文字、白抜影、斜体、強調の装飾をします。
		文字間	文字の間隔を変更します。

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、機能のボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。
カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



機能を指定する

機能は以下のような流れで指定します。

❶ カーソルを合わせる

行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。
文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。
参照☞P.53「指定範囲とカーソルの位置について」

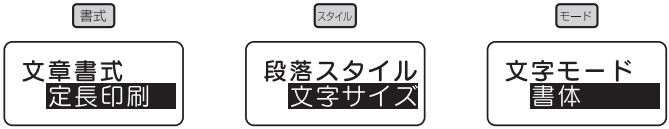
❷ 機能のボタン（書式 または スタイル、モード）を押す

‼注意‼

ネガ文字があるときは、機能を指定できません。

❸ 機能を選ぶ

↑ ↓で目的の機能を選び、選択改行を押します。



❹ 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓で目的の選択肢を選び、選択改行を押します。

例 **：文字モードの「書体」の選択肢**

❺「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、同じ分類の次の機能が表示されます。

同じ分類の機能（この場合「文字モード」）であれば、続けて指定することができます。↑ ↓で目的の機能を選び、選択改行を押します。
以降の手順は❹ ❺と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、選択改行を押します。
手順❻へ進みます。

MEMO

他の機能（この場合「段落スタイル」「文章書式」）を指定したい場合は、手順❻のあと、テキスト画面に戻ってから他の各機能のボタンを押します。

❻ 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。
下表を参考に、↑ ↓で指定する範囲を選び、選択/改行を押します。
指定が終了し、テキスト画面に戻ります。
（「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されず、手順❺でテキスト画面に戻ります。）

●「文字モード」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した文字モードを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶（文字モード指定マーク）」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

●「段落スタイル」の機能を指定した場合

文章全体	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

●「文章書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。
手順❺で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します（テキスト画面上は何も変わりません）。

MEMO

- 「▶（文字モード指定マーク）」は印刷されません。
- 「▶」は削除することができます。「▶」を削除すると、「文章全体」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.57「メニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.74「各種の初期値（保存値）を設定する」で変更することもできます。
- 操作を途中でやめるときは、指定の途中で削除/取消または各機能のボタンを押し、操作を戻します。
- 一部の指定内容は、インジケーターの点灯で確認できます。
  参照☞P.20「ディスプレイ（画面）の見かた」
  また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 飾り字、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

参考

■操作例：書体を変更する

文字モード－書体の場合、具体的な操作は次のようになります。

例：漢字書体を明朝体に変更する

伊藤 ➡ 伊藤

❶ [モード]を押す

「文字モード」メニューが表示されます。

❷ 機能を選び、[選択改行]を押す

ここでは「書体」を選択します。

❸「漢字書体」の選択肢（設定値）を選び、[選択改行]を押す

ここでは「明朝体」を選択します。

❹「かな書体」の選択肢を選び、[選択改行]を押す

ここでは「自動」を選択します。

MEMO

かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。書体を変更したい場合は、目的の書体を選択してください。

❺「英数書体」の選択肢を選び、[選択改行]を押す

ここでは「自動」を選択します。

❻ [←][↑][↓][→]を押して「終わり？」を選び、[選択改行]を押す

❼ 設定範囲を選び、[選択改行]を押す

ここではラベル全体に指定するので「文章全体」を選択します。

文字の書体が変更されます。

メニュー一覧

文章書式

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文章書式		
定長印刷 ▶ 定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照☞P.61	しない / 音楽テープ / ミニDV / VHS / CD・DVDケース / A4ファイル / 1.0cm〜50cm ▶ / MD / 8mmビデオ / FD・MO / B5ファイル	前寄せ / 中寄せ / 均等割 / 後寄せ
地紋印刷 ▶ 地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照☞P.61	なし00 / 菱形02 / ｶｰﾄﾞ04 / 点網06 / 海波01 / 桜 03 / 唐草05 / 切抜07	
余白 ▶ 余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照☞P.62	ふつう / 極少	
鏡文字印刷 ▶ 鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照☞P.62	しない / する	
終わり？ 終わり？ 参照☞P.54		

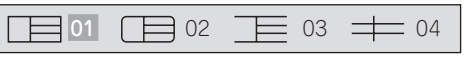
段落スタイル

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
文字サイズ ▶	均等	（おまかせフォーマット）
	1行 ▶	1行 特大1a　 大　1b 中　1c　 小　1d
	2行 ▶	2行 大大2a　 中中2b 大細2c　 大小2d 小大2e　 細大2f
	3行 ▶	3行 均等3a　 1大3b 2大3c　 3大3d 1小3e　 2小3f 3小3g
	4行 ▶	4行 均等4a　 1大4b 2大4c　 3大4d 4大4e
	5～6行	

均等
各行を同じ文字サイズにします。

おまかせフォーマット
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。
参照 P.63

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
段落スタイル		
外枠・表組 ▶	なし	
	外枠 ▶	
	表組み ▶	
割付け ▶	前揃え	中揃え
	均等割	後揃え
縦・横 ▶	よこ書き	
	たて書き	
終わり？ ▶	**範囲は？**	
	文章全体	
	この段落	

外枠
図のような飾り枠がつけられます。
参照 P.64

表組み
図のような表組みのラベルを作ります。
参照 P.64

割付け
各行の文字の配置を指定します。
参照 P.65

縦・横
文字の向きを指定します。
参照 P.65

終わり？
参照 P.54

文字モード

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード			
書体 ▶	漢字書体 ▶	かな書体 ▶	英数書体
	ゴシック	自動	自動
	明朝体	ゴシック	ゴシック
		明朝体	明朝体
		ハッピ	BR体
飾り字 ▶	A ふつう		
	A 白抜き		
	A 影文字		
	A 白抜影		
	A 強調		
	A 斜体		
文字間 ▶	ふつう		
	密着		
終わり？ ▶	範囲は？		
	文章全体		
	この行		
	この段落		

書体
漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。
参照 P.66

飾り字
文字の装飾を指定します。
参照 P.67

文字間
文字間隔を調整します。
参照 P.67

終わり？
参照 P.54

機能の説明

文章書式

●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。
長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。

1.0cm～50cmは、ラベルの長さを数値で指定できます。

用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をおすすめします。

用途	長さ	推奨テープ幅
音楽テープ	9.5cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
ミニDV	4.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14cm	18mm

用途	長さ	推奨テープ幅
FD・MO	7.0cm	18mm
CD・DVDケース	11cm	4mm
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示され、定長印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。

●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。
地紋印刷では文章の前にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると地紋が入ったラベルができあがります。

MEMO

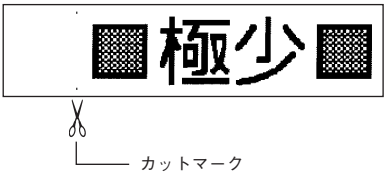
地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。「極少」を指定すると、文章の前にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。

ふつう（余白：前後約10mm、ご購入時の初期設定）

極少（余白：前後約1mm）

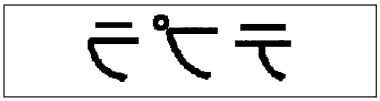


●鏡文字印刷

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

しない（正像、ご購入時の初期設定）

する



MEMO

転写テープがセットされているときは、印刷時に転写印刷を選択できるため、鏡文字印刷を指定する必要はありません。

参照☞P.84「転写テープを印刷する」

段落スタイル

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「おまかせフォーマット」で指定してください。
文字サイズの変更は文字サイズボタンでも指定できます。

均等	各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ 2nd アルバム発売中! 18mm幅テープ 封入特典 ♪インストアイベント招待券 日時:9月18日 19:00～ 詳しくは店員まで
おまかせフォーマット	各行の文字サイズ（行の大小）を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます（セミオート）。

おまかせフォーマット（1行～4行）

選択肢から文字サイズ（行の大小）を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

おまかせフォーマット 1行の文字サイズ

特大1a・大1b・中1c・小1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷サンプル（実寸）	美	美	美	美	美	美
文字サイズ［pt］ / テープ幅	U［38］	G［26］	L［19］	M［13］	S［10］	P［6］
18mm	特大	大	中	小	－	－
12mm	－	特大	大	中	小	－
9mm	－	－	特大	大	中	小
6mm	－	－	－	特大	大	中、小
4mm	－	－	－	－	－	特大、大、中、小

!! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部が機能しないことがあります。

MEMO

- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なる場合は、「均等」で印刷されます。

●外枠・表組

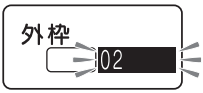
文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし（ご購入時の初期設定値）

外枠・表組みをつけません。

外枠

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。
表示される図で外枠の種類を確認できます。



MEMO

表組み・外枠の種類は、番号を数字ボタンで指定することもできます。
参照☞P.59「段落スタイル」

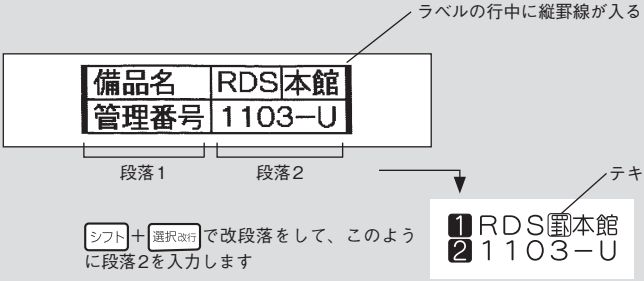
表組み

文章（段落）を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。
複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。
表示されるピクトグラフで表組みの種類を確認できます。
参照☞P.46「段落を増やす（改段落）」

備品名	RDS
管理番号	1103−U

MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、記号を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の罫を入力します。



●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（ご購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
均等割	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。
たて書き/よこ書きの変更は縦・横ボタンでも指定できます。
参照☞ P.50「ラベルの向きを変える（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

たて書き

文字モード

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。

ゴシック（ご購入時の初期設定値）

美しい文字

明朝体

美しい文字

ハッピ

うつくシイ

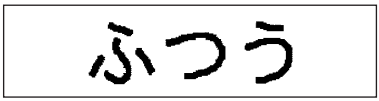
BR体

Beautiful

●飾り字

文字の装飾を選択します。

ふつう（ご購入時の初期設定値）



白抜き

影文字

白抜影

強調

斜体

MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

●文字間

文字の間隔を選びます。

ふつう（ご購入時の初期設定値）

密着

MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルメニュー

ファイル（ファイル）ボタンのメニュー一覧（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル ▶	**登録**	作成した文章を保存します	P.68
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.69
	消去	登録した文章を消去します	P.69

ファイルを登録する

❶ ファイルを押す
「ファイル」メニューが表示されます。

❷

「登録」を選び、選択改行を押す

❸

← ↑ ↓ →で登録番号を選び、選択改行を押す

❹

内容を確認し、選択改行を押す
「登録実行」と表示されます。

!! 注意 !!

- 「登録実行」表示中はACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容が壊れる場合があります。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
- 電池を交換する程度の時間（約2分間）は、バックアップ用の回路によって電源が供給されますが、電池交換は速やかにおこなってください。
- 長期間保存した結果、電池が消耗してデータが失われることがあります。

MEMO

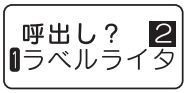
- ファイルは2件まで登録できます。
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消または ファイル を押し、操作を戻します。
- データがいっぱいで登録できない場合は「ファイル満員」と表示されます。不要なファイルを消去してください。

ファイルを呼び出す

❶ ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

❷

「呼出」を選び、
選択改行 を押す

❸


← ↑ ↓ → でファイル番号を選び、選択改行 を押す

❹

内容を確認し、
選択改行 を押す
ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!
ファイルを呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は失われます。必要な文章はあらかじめファイルに登録してください。

ファイルを消去する

ファイルは、1件ごと消去できます。

❶ ファイル を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

❷

「消去」を選び、
選択改行 を押す

❸

← ↑ ↓ → でファイル番号を選び、選択改行 を押す

❹

内容を確認し、
選択改行 を押す

❺

選択改行 を押す
ファイルが消去されます。

!! 注意 !!
消去したファイルを戻すことはできません。

MEMO
- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、削除取消 またはファイル を押し、操作を戻します。

読みのわからない漢字を入力する（コード入力）

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。
入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。
参照☞P.93「漢字変換表」

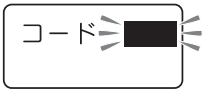
例 **：「お休み處」と入力する**

❶

ネガ文字がないことを確認する

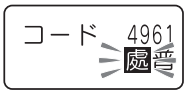
❷ 入力したい漢字「處」のコードを調べる

コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。
處…4961（区点コード）
参照☞P.93「漢字変換表」

❸ 

シフト を押しながら あ・ア・A 変換 （＝コード入力）を押す

コード入力画面になります。

❹ 

コードを入力する

4さ、9よ、6お、1め を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。

コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

❺

「處」を選び、選択改行 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

MEMO

- ネガ文字があるときは、コード入力できず、文字が確定します。
- コードの入力を間違えたときは削除取消を押して入力しなおしてください。

環境設定を変更する

環境設定メニュー一覧

シフトを押しながらファイル（＝環境設定）を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます。

（太字は購入時の初期設定値です。）

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
環境設定		
表示濃度 ▶	-5 ： **ふつう** ： +5	
印刷濃度 ▶	-3 ： **ふつう** ： +3	
自動カット ▶	**する** しない	
保存値 ▶	**定長印刷** ▶ 地紋印刷 余白 鏡文字印刷 文字サイズ 外枠・表組 割付け 縦・横 書体 飾り字 文字間 終わり？ 復元？	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

表示濃度
画面表示の濃さを設定します。
参照 P.72

印刷濃度
印刷の濃さを設定します。
参照 P.72

自動カット
印刷後の自動カットの有無を設定します。
参照 P.73

保存値
保存値を設定します。
参照 P.75

ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5〜ふつう〜＋5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

❶ **[シフト]を押しながら[ファイル]（＝環境設定）を押す**

「環境設定」メニューが表示されます。

❷

「表示濃度」を選び、[選択/改行]を押す

❸

[↑][↓]で濃度を調整し、[選択/改行]を押す

初期設定値は「ふつう」に設定されています。

表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- 表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照☞P.76「本機を初期化する」

印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3〜ふつう〜＋3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

❶ **[シフト]を押しながら[ファイル]（＝環境設定）を押す**

「環境設定」メニューが表示されます。

❷

「印刷濃度」を選び、[選択/改行]を押す

❸

[↑][↓]で濃度を調整し、[選択/改行]を押す

印刷濃度が設定されます。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除/取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印刷がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 耐熱ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベルで印刷がカスレた場合は「＋3」に設定してください。
参照☞P.83「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照☞P.76「本機を初期化する」

「自動カット」を設定する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カットしない」にも設定できます。

!!注意!!

本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・蓄光ラベル・りぼんを使う場合は、「自動カットしない」にして印刷してください。
参照☞P.83「テープカートリッジを使いわける」

❶ シフトを押しながらファイル（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

❷

「自動カット」を選び、選択/改行を押す

❸

「しない」を選び選択/改行を押す

自動カットが無効に設定されます。

❹ 印刷/テープ送りを押す

印刷が始まります。
印刷が終わるとテープはカットされず、そのまま止まります。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。
一度、自動カットを「しない」に設定すると、以降はカットされずに印刷されます。全文消去を実行しても自動カットの設定は「しない」のままです。自動カットを有効にしたい場合は、再度「環境設定」メニューで自動カットを「する」に設定してください（左記手順）。

MEMO

- 「自動カットしない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。カット可能なテープに入れ替えた場合など、そのラベルのみ自動でカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。
  参照☞P.27「5.テープ送りをする」
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
  参照☞巻末「アフターサービスについて」
- 操作を途中でやめるときは、削除/取消または ファイル を押し、操作を戻します。

各種の初期値（保存値）を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。
本機では書式、スタイル、モードボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
書式	定長印刷、地紋印刷、余白、鏡文字印刷
スタイル	文字サイズ、外枠・表組、割付け、縦・横
モード	書体、飾り字、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに書式、スタイル、モードボタンで変更する必要がなくなります。ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常（全文消去直後）は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.57「メニュー一覧」を参照してください。
- 書式、スタイル、モードボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。

!! 注意 !!

- 保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。
  参照☞P.43「すべての文章を消去する」
- 保存値のデータを保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。
- 電池を交換する程度の時間（約2分間）は、バックアップ用の回路によって電源が供給されますが、電池交換は速やかにおこなってください。
- 長期間保存した結果、電池が消耗してデータが失われることがあります。

保存値を変更する

❶ シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.43「すべての文章を消去する」

❷ シフトを押しながらファイル（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

❸

「保存値」を選び、選択改行を押す

❹

変更したい項目を選び、選択改行を押す

❺

保存値に設定したい選択肢を選び、選択改行を押す

各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

参照☞P.52「ラベルの見栄えをよくする」

❻

変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終わり？」を選び、選択改行を押す

保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、削除取消またはファイルを押し、操作を戻します。
- 手順❹の「保存値」メニューで「復元」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

本機を初期化する

‼注意‼

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
  なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。
初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

内容＼機能		初期化	保存値復元（P.75）	全文消去（P.43）
入力	テキスト画面の文章	●	－*1	●
	入力状態と小文字ロック	●	－	－
データ	ファイルデータ	●	－	－
設定	自動カットの設定値	●	－	－
	印刷濃度の設定値	●	－	－
	表示濃度の設定値	●	－	－
	各種の保存値	●	●	－

● ： ご購入時の状態に戻ります。
－ ： 保持されます。
*1　初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

❶ ON/OFFを押して電源を切る

!! 注意 !!

ON/OFFを押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度ON/OFFを押して電源を入れます。
以降は手順❶からの操作で初期化してください。

❷

選択改行と削除取消を押しながらON/OFFを押す

「本体初期化？」が点滅します。

!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは選択改行以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
  今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、充分に確認してください。

❸ 選択改行を押す

「初期化　実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

❶

シフトを押しながら削除/取消（＝消去）を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。
参照☞P.43「すべての文章を消去する」

❷

「demo」と入力する

参照☞P.35「4.英数字を入力する」

❸ シフトを押しながら変換/スペースを押す

デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな？」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

MEMO

印刷を途中でやめるときは削除/取消を押してください。

見本

6mm幅テープ

18mm幅テープ

付録

メニュー一覧

各ボタンで表示される機能は、該当ページを参照してください。

ボタン機能名	表示される機能	参照ページ
シフト＋印刷/テープ送り	テープ送り	P.82
記号	記号	P.81
書式	文章書式	P.57
スタイル	段落スタイル	P.58
モード	文字モード	P.60
ファイル	ファイル	P.68
シフト＋ファイル	環境設定	P.71
シフト＋削除/取消	消去	P.82

記号メニュー一覧

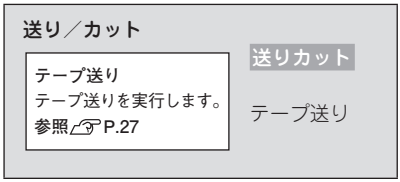
記号を押すと、記号を入力できます（太字は購入時の初期設定値です）。
選択できる記号は、P.99「記号一覧表」を参照してください。

メニュー		選択肢
記号	記述 ▶	記号選択
	省略 ▶	
	カッコ ▶	
	矢印 ▶	
	○△□☆ ▶	
	単位 ▶	
	算数 ▶	
	数字 ▶	
2桁数字 2桁の数字を1文字として入力します。 参照☞P.51	2桁数字 ▶	数値選択
	年号 ▶	
	公共表示 ▶	記号選択
	環境 ▶	
	荷物 ▶	
	警告用 ▶	
	仕事 ▶	
	スポーツ ▶	
	遊び ▶	
	ビデオ ▶	
	音楽 ▶	
	生き物 ▶	
	乗り物 ▶	
	食べ物 ▶	
	予定 ▶	
	暮らし ▶	
	学校 ▶	
	シーズン ▶	
	顔 ▶	
	星座 ▶	
	ギリシャ ▶	
	欧州 ▶	
編集 全角スペースや縦罫線を入力します。 参照☞P.36、64	編集 ▶	

テープ送りメニュー一覧

シフトを押しながら印刷テープ送り（＝テープ送り）を押すと、テープ送りや送りカットを実行できます（太字は購入時の初期設定値です）。

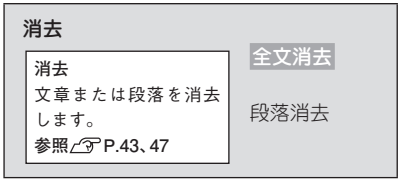
メニュー



消去メニュー一覧

シフトを押しながら削除取消（＝消去）を押すと、文章全体または段落全体を消去できます（太字は購入時の初期設定値です）。

メニュー



付録

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター使用禁止	耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・蓄光ラベル・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 **参照☞P.73「「自動カット」を設定する」**
印刷濃度の調整が必要	耐熱ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「＋3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・蓄光ラベル	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「＋3」に設定して印刷する。 **参照☞P.72「印刷濃度を調整する」**
鏡文字の設定が必要	アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷します。 **参照☞P.62「鏡文字印刷」**

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。
参照☞P.27「5.テープ送りをする」

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブ（φ5mm）をご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。φ11mm熱収縮チューブは本機では使用できません。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本体の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字、網掛け、地紋の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本体から取り外してください。

転写テープについて

本機は、「SR950/SR750専用」と書かれている転写テープを、お使いいただけます。

転写テープを印刷する

転写テープをセットしているときは、印刷時に転写印刷を指定できます。

❶ 転写テープのカートリッジを本機にセットする

テープカートリッジをセットした直後は、シフトを押したままを印刷テープ送りを押し、「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

❷ 文字を入力する

❸ 印刷テープ送りを押す

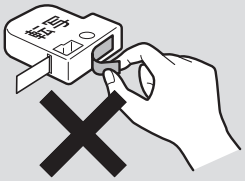
「転写印刷」メニューが表示されます。

❹「する」を選び、選択/改行を押す

上下逆さまになった「鏡像」で印刷されます。印刷終了後、テープは自動的にカットされます。

!! 注意 !!

- 本機では、転写テープの「識別シール」を読み取り、転写テープを認識します。「識別シール」をはがしたり、「識別シール」の上に余分なラベルを貼ると、間違って識別されることがあります。



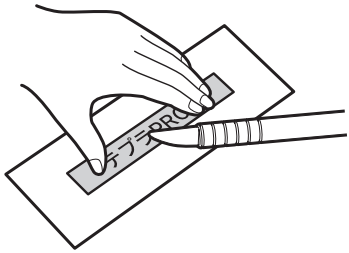
- テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」または「送りカット」をしてインクリボンのたるみをとってください。
- 転写テープで転写印刷を「しない」で印刷すると、印刷結果が正像になります。このラベルを転写すると、転写結果が「鏡像」になりますのでご注意ください。
- 転写しやすいように、余白は自動的に多めに印刷されます。

転写テープの文字を転写する

❶ 机などの平面に転写する紙面をおき、紙面の上に転写テープを文字が正しく読める面を上にしておく

❷ テープの余白をしっかり押さえ、付属の転写スティックでテープの上から1文字ずつていねいにこする

❸ 上から見て、文字が白っぽく変わったら、転写完了



付録

こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 **参照☞P.22「1. ACアダプタを接続する」** **参照☞P.22「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」**
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 **参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」**
テープ確認！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 **参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」**
テープ幅を確認して！	本機で使用できないテープカートリッジをセットしているか、または正しい位置にセットされていない状態でプレビューや印刷/テープ送りを押しています。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 **参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」**
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、☒の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。なお、本機のディスプレイには最大6文字×2行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した文字は隠れて見えなくなりますが、←↑↓→でカーソルを移動すれば確認できます。 **参照☞P.44「テープ幅と印刷できる行数」**
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 **参照☞P.61「定長印刷」**

エラーメッセージ	原因・対処
定長→字余り 強行？	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で[プレビュー]や[印刷テープ送り]を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま[選択改行]を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 **参照☞P.61「定長印刷」**
ファイル満員	ファイルを登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイルを消去してください。 **参照☞P.69「ファイルを消去する」**
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 **参照☞P.68「ファイルを登録する」**
モーター 異常！	モーター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 **参照☞巻末「アフターサービスについて」**
カッター 異常！	カッター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 **参照☞巻末「アフターサービスについて」**

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。
不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、本機の初期化をしてください。
参照☞P.76「本機を初期化する」

ON/OFFを押してもディスプレイに何も表示されない

● **ACアダプタはしっかりと接続されていますか？**
本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。
参照☞P.22「1.ACアダプタを接続する」

● **電池は正しくセットされていますか？**
電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、全ての電池が正しくセットされているか確認してください。
参照☞P.22「2.電池（別売）を入れて使用するときは」

● **専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？**
同梱のACアダプタ（AC0615J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● **電池が消耗していませんか？**
消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

● **ディスプレイの表示濃度は適切ですか？**
ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。
参照☞P.72「ディスプレイの濃度を調整する」

ディスプレイが消える

● **オート・パワーオフ機能ではありませんか？**
本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。（オート・パワーオフ）

● **操作を間違えませんでしたか？**
本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

印刷テープ送りを押しても何も印刷されない

● **文章が入力されていますか？**
テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

● **ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？**
エラーメッセージが表示されていると印刷されません。
参照☞P.85「こんな表示が出たときは」
準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

● **消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？**
テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかり閉じてください。
参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」

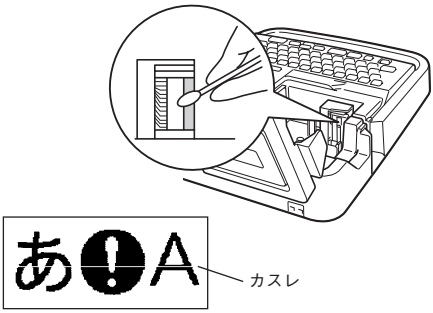
● **電池が消耗していませんか？**
消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。「電池を交換！」が表示されたら、すぐに新しい電池と交換してください。
電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

● **上カバーは閉じていますか？**
上カバーが開いていると印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーを完全に閉じてください。
参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」

文字がきちんと印刷されない

● **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。
参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」

● **印刷ヘッドが汚れていませんか？**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド･クリーニングテープ（SR18C）またはヘッド･クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照☞P.90「お手入れについて」



● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ（AC0615J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ラベルを印刷後、自動カットされない

● **自動カットを「しない」に設定していませんか？**
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照☞P.73「「自動カット」を設定する」

● **カッターの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

● **テープカートリッジにテープの残りがありますか？**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照☞P.24「3.テープカートリッジをセットする」

● **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ（AC0615J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ファイルの内容が消えてしまった

● **本機の初期化をしましたか？**
本機の初期化をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われます。
参照☞P.76「本機を初期化する」

● **電池がセットされていますか？**
登録したファイルや入力した文章の内容を保存しておきたいときは、電池（別売）を正しくセットしたまま保管してください。約2分以上、本機に電源が供給されないと、データはすべて失われます。また、「電池を交換！」と表示されたら、電池が消耗しています。すぐに新しい電池と交換してください。

● **電源が入った状態で電池を交換していませんか？**
電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。

● **動作中にACアダプタや電池を抜きませんでしたか？**
ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」と表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● **裏紙をはがしていますか？**
粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものや、透明で見えにくいものがあります。
参照☞P.40「9.ラベルを貼る」

● **貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？**
表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO
上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」

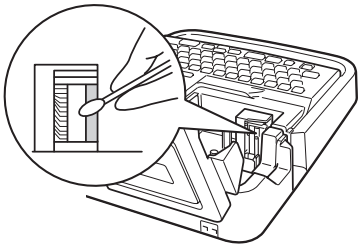
お手入れについて

■ 本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれブキンで拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■ 印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR18C）またはヘッド・クリーニングキット（RC15）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

❶ ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする

❷ シフト を押しながら 印刷テープ送り （＝テープ送り）を押す

❸ 「テープ送り」を選び、選択改行 を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1～2回 おこなってください。

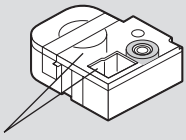
参照☞P.27「5.テープ送りをする」

!!注意!!

- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。

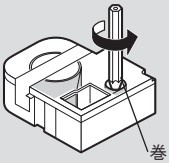
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。

- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



MEMO

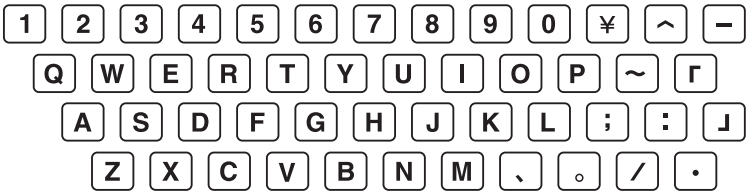
- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR18Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみを取ってください。



- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。

入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

「大」はシフトを押していない状態、「小」はシフトを押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@
3	3	#	あ	ぁ	3	#
4	4	$	う	ぅ	4	$
5	5	%	え	ぇ	5	%
6	6	&	お	ぉ	6	&
7	7	’	や	ゃ	7	’
8	8	*	ゆ	ゅ	8	*
9	9	(	よ	ょ	9	(
0	0	)	わ	を	0	)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^
ー	ー	ー	ー	ー	-	ー
Q	Q	q	た	た	Q	q
W	W	w	て	て	W	w
E	E	e	い	ぃ	E	e
R	R	r	す	す	R	r
T	T	t	か	か	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y
U	U	u	な	な	U	u
I	I	i	に	に	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p
~	~	÷	゛	~	~	÷
「	「	{	゜	「	「	{

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a
S	S	s	と	と	S	s
D	D	d	し	し	D	d
F	F	f	は	は	F	f
G	G	g	き	き	G	g
H	H	h	く	く	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j
K	K	k	の	の	K	k
L	L	l	り	り	L	l
;	;	+	れ	れ	;	+
:	:	×	け	け	:	×
」	」	}	む	」	」	}
Z	Z	z	つ	っ	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b
N	N	n	み	み	N	n
M	M	m	も	も	M	m
、	、	,	ね	、	,	,
。	。	.	る	。	.	.
／	／	?	め	?	／	?
・	・	・	ろ	・	・	・

注1 ： ボタン~の「゛」とボタン「の「゜」は単独では入力できません。単独で入力した場合は「~」、「「」になります。

注2 ： ボタンーで入力できる文字は次の通りです。
ローマ字（大）、かな（大）：「ー」（長音）
ローマ字（小）、かな（小）、ABC（小）：「ー」（マイナス）
ABC（大）：「-」（ハイフン）

注3 ： ボタン。の「.」はピリオドです。

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。
参照☞P.70「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」

!!注意!!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	1601～1609		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	1610～1619	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620～1629	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	1630～1639	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640～1641	鞍	杏								
イ	1642～1649			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	1650～1659	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660～1669	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	1670～1679	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680～1689	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	1690～1694	引	飲	淫	胤	蔭					
ウ	1701～1705		院	陰	隠	韻	吋				
	1710～1709							右	宇	烏	羽
	1710～1719	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720～1729	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	1730～1732	云	運	雲							
エ	1733～1739				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740～1749	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	1750～1759	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760～1769	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	1770～1779	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780～1786	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
オ	1787～1789								於	汚	甥
	1790～1794	凹	央	奥	往	応					
	1801～1809		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	1810～1819	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820～1827	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
カ	1828～1829									下	化
	1830～1839	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840～1849	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	1850～1859	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860～1869	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	1870～1879	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
カ	1880～1889	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	1890～1894	恢	懐	戒	拐	改					
	1901～1909		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	1910～1919	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920～1929	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	1930～1939	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940～1949	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	1950～1959	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960～1969	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	1970～1979	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980～1989	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	1990～1994	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2001～2009		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	2010～2019	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020～2029	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	2030～2039	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040～2049	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	2050～2059	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060～2069	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	2070～2074	贋	雁	頑	顔	願					
キ	2075～2079						企	伎	危	喜	器
	2080～2089	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	2090～2094	旗	既	期	棋	棄					
	2101～2109		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	2110～2119	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120～2129	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	2130～2139	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140～2149	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	2150～2159	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	2160～2169	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	2170～2179	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180～2189	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	2190～2194	禦	魚	亨	享	京					
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201～2209		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	2210～2219	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220～2229	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	2230～2239	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240～2249	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	2250～2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260～2268	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
ク	2269										九
	2270～2279	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280～2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	2290～2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301～2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	2310～2319	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡									
ケ	2321～2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330～2339	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340～2349	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	2350～2359	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360～2369	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	2370～2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380～2389	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	2390～2394	建	憲	懸	拳	捲					
	2401～2409		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	2410～2419	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420～2429	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	2430～2434	絃	舷	言	諺	限					
コ	2435～2439						乎	個	古	呼	固
	2440～2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	2450～2459	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460～2469	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	2470～2479	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480～2489	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	2490～2494	効	勾	厚	口	向					
	2501～2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510～2519	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520～2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530～2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540～2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	2550～2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560～2569	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	2570～2579	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580～2589	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	2590～2594	忽	惚	骨	狛	込					
	2601～2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610～2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
サ	2619										些
	2620～2629	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	2630～2639	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640～2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	2650～2659	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660～2669	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2670～2679	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680～2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690～2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701～2709		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	2710～2719	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720～2729	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730～2736	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
シ	2737～2739								仕	仔	伺
	2740～2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750～2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760～2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	2770～2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780～2789	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	2790～2794	字	寺	慈	持	時					
	2801～2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	2810～2819	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820～2829	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830～2839	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840～2849	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	2850～2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860～2869	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2870～2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880～2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2890～2894	綬	需	囚	収	周					
	2901～2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910～2919	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920～2929	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	2930～2939	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940～2949	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	2950～2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960～2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	2970～2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980～2989	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	2990～2994	恕	鋤	除	傷	償					
	3001～3009		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	3010～3019	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020～3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030～3039	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040～3049	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	3050～3059	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060～3069	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	3070～3079	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080～3089	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	3090～3094	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3101～3109		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	3110～3119	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120～3129	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	3130～3139	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
ス	3140～3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	3150～3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	3158～3159									笥	諏
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ス	3160～3169	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	3170～3179	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180～3189	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	3190～3194	椙	菅	頗	雀	裾					
	3201～3203		澄	摺	寸						
セ	3204～3209					世	瀬	畝	是	凄	制
	3210～3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220～3229	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	3230～3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240～3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	3250～3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260～3269	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	3270～3279	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280～3289	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎
	3290～3294	煽	旋	穿	箭	線					
	3301～3309		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
	3310～3319	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320～3324	全	禅	繕	膳	糎					
ソ	3325～3329						噌	塑	岨	措	曾
	3330～3339	曽	楚	狙	疎	疎	礎	祖	租	粗	素
	3340～3349	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	3350～3359	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360～3369	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	3370～3379	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380～3389	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	3390～3394	霜	騒	像	増	憎					
	3401～3409		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	3410～3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420～3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
タ	3430～3439	他	多	太	汰	詫	唾	堕	妥	惰	打
	3440～3449	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	3450～3459	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460～3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	3470～3479	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480～3489	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	3490～3494	諾	茸	凧	蛸	只					
	3501～3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	3510～3519	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520～3529	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	3530～3539	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540～3544	暖	檀	段	男	談					
チ	3545～3549						値	知	地	弛	恥
	3550～3559	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560～3569	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	3570～3579	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580～3589	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	3590～3594	丁	兆	凋	喋	寵					
	3601～3609		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	3610～3619	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620～3629	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	3630～3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ツ	3637～3639								津	墜	椎
	3640～3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	3650～3659	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
	3660～3665	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
テ	3666～3669							亭	低	停	偵
	3670～3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680～3689	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3690～3694	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3701～3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	3710～3719	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720～3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	3730～3737	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3738～3739									兎	吐
	3740～3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	3750～3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760～3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	3770～3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780～3789	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	3790～3794	答	筒	糖	統	到					
	3801～3809		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	3810～3819	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820～3829	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	3830～3839	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840～3849	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	3850～3859	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860～3863	頓	呑	曇	鈍						
ナ	3864～3869					奈	那	内	乍	凪	薙
	3870～3879	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880～3882	軟	難	汝							
ニ	3883～3889				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	3890～3894	虹	廿	日	乳	入					
	3901～3907		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ヌ	3908									濡	
ネ	3909										禰
	3910～3919	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘									
ノ	3921～3929		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	3930～3934	脳	膿	農	覗	蚤					
ハ	3935～3939						巴	把	播	覇	杷
	3940～3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	3950～3959	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960～3969	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	3970～3979	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980～3989	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	3990～3994	爆	縛	莫	駁	麦					
	4001～4009		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	4010～4019	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020～4029	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	4030～4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040～4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	4050～4058	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヒ	4059										匪
	4060～4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070～4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080～4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090～4094	枇	毘	琵	眉	美					
	4101～4109		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	4110～4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120～4129	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	4130～4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140～4149	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	4150～4151	敏	瓶								
フ	4152～4159			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160～4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	4170～4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180～4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	4190～4194	伏	副	復	幅	服					
	4201～4209		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	4210～4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220～4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
ヘ	4226～4229							丙	併	兵	塀
	4230～4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240～4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	4250～4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭									
ホ	4261～4269		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	4270～4279	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280～4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290～4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301～4309		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	4310～4319	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320～4329	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	4330～4339	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340～4349	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350～4359	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360～4363	本	翻	凡	盆						
マ	4364～4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370～4379	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380～4389	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	4390～4394	繭	麿	万	慢	満					
	4401～4402	漫	蔓								
ミ	4403～4409				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	4410～4418	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
ム	4419										務
	4420～4428	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
メ	4429										冥
	4430～4439	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440～4445	免	棉	綿	緬	面	麺				
モ	4446～4449							摸	模	茂	妄
	4450～4459	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460～4469	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	4470～4472	紋	門	匁							
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ヤ	4473～4479				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480～4489	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	4490	鑓									
ユ	4491～4494		愉	愈	油	癒					
	4501～4509		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	4510～4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520～4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
ヨ	4529										予
	4530～4539	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540～4549	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	4550～4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560～4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ラ	4569										羅
	4570～4579	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580～4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
リ	4588～4589									利	吏
	4590～4594	履	李	梨	理	璃					
	4601～4609		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	4610～4619	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620～4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	4630～4639	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640～4649	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	4650～4659	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660～4664	瑠	塁	涙	累	類					
レ	4665～4669							令	伶	例	冷	励
	4670～4679	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680～4689	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	4690～4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701～4703		蓮	連	錬						
ロ	4704～4709					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	4710～4719	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720～4729	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	4730～4732	肋	録	論							
ワ	4733～4739				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740～4749	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	4750～4751	碗	腕								
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。
従って「丼」の区点コードは「4807」となります。

区	区点コード															
48	07 丼	10 乖	11 乗	14 豫	17 弍	19 亞	22 亢	28 仄	37 佚	39 佛	42 佇	44 侈	45 侏	46 侘	47 佻	
	50 侑	52 來	54 儘	57 俎	58 俘	66 倨	70 倅	71 倖	77 俯	82 會	83 偕	85 偈	89 偸	90 傀	94 傲	
49	03 傳	06 僞	07 僥	08 僧	11 價	13 儉	19 儚	20 儡	27 兒	28 兌	30 兢	45 冤	53 冲	56 冽	59 凛	
	60 几	61 處	62 凩	64 凰	66 函	67 刄	70 刎	73 刮	74 剞	75 利	78 剋	79 剌	82 剪	84 剩	87 剽	
	88 劍															
50	01 辨	06 勁	14 勳	19 匈	21 匍	22 匐	28 匿	32 卒	36 卍	43 卷	45 厖	46 厠	50 厭	54 雙	55 叟	
	56 曼	63 叶	67 吼	69 吶	71 吝	74 呵	75 咎	76 咬	81 呻	82 咀	84 咄	86 咆	89 咸	91 咬	92 哄	
51	03 咤	04 咥	12 哮	13 哭	14 哺	21 啜	23 啖	25 唸	29 喀	34 啾	35 喘	37 單	38 啼	39 喃	40 噛	
	43 鳴	44 嗅	45 嗟	46 嗄	47 嗜	48 嗤	50 嘔	60 嘴	61 嘶	62 嘲	65 嘸	66 噺	68 噪	80 噂	81 噐	
	82 噺	83 噂	89 囮	91 圀												
52	01 圏	02 國	04 圓	05 團	06 圖	07 嗇	10 坏	14 址	27 垉	28 埃	31 埒	37 埋	43 塗	44 毀	47 塹	
	50 墟	53 壞	56 墮	62 壘	64 壜	67 壮	68 壺	69 壹	70 壻	71 壼	72 壽	78 夥	80 夭	83 夾	85 奕	
	87 奎	90 奢	91 奐	93 奬	94 奩											
53	01 奸	04 佞	10 姜	16 娑	17 娜	20 婀	22 婉	24 娶	25 婢	27 媚	28 媼	30 嫋	31 嫂	33 嫣	34 嫗	
	40 嬌	43 嬲	45 嬪	46 嬶	48 孃	52 孕	57 孰	59 孵	60 學	65 宦	66 宸	68 寇	73 實	74 寢	75 寞	
	76 寥	79 寶	82 將	83 專	84 對	88 尨	91 屍	93 屎	94 屓							
54	02 屏	08 屹	10 岑	21 峙	23 峡	26 嶌	30 崗	34 崑	37 崚	40 嵌	53 嶮	54 嶽	62 巌	64 巫	65 已	
	71 帛	72 帶	73 帷	76 幀	80 幟	83 幇	91 廂									
55	02 廣	12 廳	15 廸	24 弩	28 彈	29 彌	30 彎	34 彗	35 彙	39 彷	41 徂	42 彿	43 徊	47 從	49 徘	
	51 徨	54 忖	57 忸	59 忝	61 忽	64 怙	68 怱	81 恆	82 恍	83 恣	84 恃	89 恙	91 悍	92 惧		
56	01 悄	02 悛	06 悧	07 悸	08 悪	09 悸	10 惠	12 悴	19 愕	21 惶	25 惺	32 慘	33 慍	35 愧	38 愼	
	40 愴	43 慄	44 慳	45 慷	47 慙	54 慟	61 憬	62 憔	63 憚	64 憊	65 憑	66 憫	67 憮	69 懊	70 應	
	71 懐	73 懃	77 懸	80 懣	82 戁	88 戀	92 戊									
57	03 戴	04 戮	05 戦	06 戯	08 扁	14 扨	15 扼	17 抉	19 抒	22 抜	25 拗	29 拿	33 拝	34 拌	36 拂	
	37 拇	38 抛	39 拉	40 挌	41 拮	42 拱	47 挧	48 捐	49 挟	51 捜	52 捏	60 掉	61 掟	64 掠	68 採	
	70 揉	72 揶	73 揄	74 搖	78 搦	80 攝	83 搏	85 摯	88 攪	91 撥	94 撼					
58	03 擅	05 擾	19 擶	21 攀	27 攣	28 攫	32 攵	38 敍	42 敲	43 數	48 斟	53 旁	57 旛	62 杲	66 杳	
	67 昵	69 昴	71 晏	74 晁	76 晝	79 晨	80 晟	82 晰	84 暈	85 暎	86 暉	92 曉				

区	区点コード															
59	03 暖	09 曰	10 曳	11 曷	15 朦	16 朧	20 朶	21 杁	25 杞	30 杼	32 柰	38 枡	40 枷	45 柩	56 槍	
	57 栞	58 框	64 梳	69 桿	70 桀	71 桔	73 梔	74 條	76 梃	80 梵	81 梧	89 棘	94 棍			
60	03 棕	05 椒	07 棗	10 椁	11 棠	20 楷	23 楫	24 楔	31 椰	32 楡	38 榮	39 槐	40 榿	49 槃	52 榑	
	56 榴	59 樂	61 橦	66 樅	71 槫	75 樣	76 樓	82 橸	84 橙	92 橲	93 檢					
61	01 檗	02 蘗	03 檻	04 櫃	05 櫂	06 檸	08 檬	11 櫟	13 櫚	15 櫻	16 欅	21 鬱	25 盜	39 歿	51 殲	
	54 殷	59 雀	60 毬	61 毫	63 毬	64 毳	65 氈	70 氣	79 沛	84 沐	85 泄	87 弘	88 沽	89 泗		
62	05 泪	06 洟	07 衍	11 洸	13 洵	15 洒	17 浣	20 浚	23 涎	24 涕	25 濤	26 涅	28 涓	33 涸	34 淆	
	36 淞	38 淨	41 淺	48 湮	53 渾	55 渌	56 渚	64 滿	66 游	70 滉	74 溯	75 滄	77 滔	84 漑	85 灌	
	87 滓	89 漿	90 滲	91 漱	92 滞	93 漲	94 滌									
63	07 澑	23 澤	24 澹	26 濡	28 濕	32 濱	34 濛	38 瀑	41 濾	44 瀦	45 瀝	47 瀟	49 瀾	53 炙	54 炒	
	55 炯	57 炬	58 炸	61 烟	64 烙	65 焉	66 烽	68 焙	69 煥	70 熙	74 煌	76 煬	78 燻	81 熨	83 燗	
	85 熾	86 燒	89 燎	92 燹	93 燵	94 燼										
64	02 燿	05 爛	07 爭	08 爬	10 爲	20 犂	30 狆	34 狢	36 狡	37 狹	42 猜	45 猴	47 猩	48 猥	49 猾	
	51 獏	52 默	54 獪	55 獨	56 獰	57 獣	60 獺	61 珈	63 珎	65 珀	71 瑯	72 琥	74 琲	76 瑕	79 瑙	
	84 瑛	85 瑪	86 瑶	90 璧												
65	01 瓠	11 甄	16 甍	17 甕	20 甦	35 畸	36 當	38 疇	40 畳	47 疣	51 疵	52 疽	53 疸	54 疼	55 疱	
	58 痒	59 痙	60 痣	66 痰	67 痺	71 瘍	76 瘡	77 皹	78 瘤	82 瘰	90 癶	91 癪				
66	01 癲	03 癸	11 皓	14 皰	18 皹	19 盂	24 盡	25 盥	30 眈	33 眩	35 眞	39 眷	40 眸	43 睨	44 睫	
	45 睛	48 睾	52 瞑	53 瞳	54 瞞	55 瞰	59 瞼	63 矍	66 矜	68 矮	70 砌	71 砒	76 碎	81 磆	88 磋	
	89 磔	93 磊														
67	01 磧	06 磯	09 礬	10 礫	11 祀	12 祠	14 崇	16 祕	17 祓	19 祿	20 禊	23 齋	24 禪	25 禮	38 稙	
	39 稠	40 稟	43 稻	47 穂	50 穢	53 穫	55 穿	62 竈	65 竅	66 竇	84 笏	88 笆	89 笙	90 笤	94 筐	
68	03 筍	05 筌	06 筅	07 筵	10 筧	14 筮	15 箝	18 箙	21 箋	22 箒	23 箏	27 箪	31 篆	32 篝	33 篩	
	34 簑	36 篭	38 籠	39 簀	44 簗	49 簪	55 籃	59 籐	62 籤	75 梗	78 糠	79 粋	80 粽	81 糀	86 糠	
	93 糺	94 紆														
69	11 絆	15 絲	16 絨	19 絣	20 經	21 綉	24 絽	26 綺	28 綣	33 總	37 綸	40 綯	43 緞	44 緻	48 縊	
	49 縣	51 縒	52 縦	55 縋	63 縷	65 縺	71 繚	72 繹	82 繖	85 纒	86 纈	90 纎	92 纔			
70	05 罐	11 罠	17 罷	19 羈	20 羇	23 羞	25 羚	29 羹	30 羹	38 翔	39 翡	42 翳	44 翩	45 耆	46 耄	
	56 聊	59 聘	60 聚	61 聟	65 聲	66 聰	69 聴	70 聿	72 肆	74 肛	76 肚	80 胛	84 胄	85 胚	89 胱	
	90 脛	91 脩	94 腋													

区	区点コード															
71	01	03	05	07	15	17	20	25	26	29	30	33	34	37	42
	隋	脾	腑	腱	膀	膠	膣	膵	膾	腎	臂	臍	臓	臈	臺
	44	47	48	50	51	53	54	56	59	67	69	74	77	85	87
	臾	舅	與	舎	舐	舩	舫	舳	艘	艫	艱	芒	芻	苺	范
	90	93													
	苞	茉													
72	02	06	07	11	12	17	23	24	29	33	53	63	80	81	84
	茴	荀	茹	茫	茗	荅	荘	茶	莉	菫	萼	萬	葎	蔡	蕉
	90														
	蓼														
73	01	02	03	08	10	11	12	14	15	18	20	22	26	27	30
	蒋	藥	蓙	薑	薨	蕭	薔	藪	薇	蕾	藉	藏	藝	藥	藴
	34	35	42	43	45	46	53	54	55	57	58	65	66	68	70
	蘭	蘆	虔	號	虱	蚓	蚯	蛄	蛆	蛉	蠣	蛛	蛯	蜆	蜀
	71	74	76	78	80	81	82	83	85	87	89	91	93	94	
	蜑	蜉	蝓	蝪	蝮	蜻	蛯	蝋	蝠	蝸	蝪	蝗	蝮	蝙	
74	02	04	05	07	09	11	15	17	19	20	21	24	27	33	42
	蝣	蠅	螢	螂	螯	蟀	蟄	蟇	螻	蟯	蟲	蠍	蠑	蠢	衒
	44	48	54	59	64	65	66	67	70	77	78	83	84	88	94
	衢	衾	袂	袢	袱	袴	裄	裔	裝	褄	褌	褥	褪	褒	襃
75	01	07	25	30	34	35	36	38	39	42	44	46	47	48	54
	襦	襷	覚	訃	訛	訝	訥	詁	詛	詈	詭	詢	誅	誂	誦
	56	57	59	61	62	63	64	66	69	71	78	79	80	83	85
	誣	諄	諂	諌	諳	諧	諤	諚	諷	諛	謗	謡	謳	謫	謨
	88	90	93												
	譏	證	譚												
76	02	05	06	08	09	10	17	18	27	34	37	40	42	45	46
	譬	譽	讀	讎	讒	讓	豈	豌	絡	貘	貪	貳	貶	賤	賣
	48	51	52	59	61	62	66	68	69	71	76	77	78	90	91
	賽	贊	贅	贓	贔	贖	赳	趙	跂	趺	跛	跋	跪	踉	踵
77	02	06	09	13	15	16	20	21	22	24	28	31	34	49	50
	蹉	蹙	踪	蹲	躁	躇	躊	躓	躑	躙	躰	軅	軼	輌	輛
	52	53	59	60	64	66	68	69	76	78	80	84	85	86	87
	轅	轜	轉	轆	轢	轤	辟	辣	迪	邇	逅	遉	逡	逍	遖
78	16	17	18	20	21	22	23	24	25	33	36	41	44	45	46
	邂	邃	邁	邊	邉	邏	邨	邯	邱	郤	酊	酩	酳	酔	酥
	48	54	56	57	71	72	73	76	77	78	79	80	85	87	94
	醫	醸	釉	釋	鈑	鉞	鉗	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	銛	鋏	鋼
79	02	10	11	15	17	20	24	36	41	43	44	47	51	56	57
	錢	鍼	鍮	鎭	鎰	鏨	鏝	鐡	鑄	鑚	鑓	鈩	鑞	鑿	門
	65	69	72	79	83	91	92								
	閏	閊	闊	闖	闢	陋	陥								
80	07	08	10	15	21	24	25	27	36	39	40	43	46	48	53
	隘	隕	險	隴	雉	雑	雀	雹	霎	霰	霹	靄	靡	靜	勒
	54	55	62	79	83	84	87	88	89	93	94				
	靱	靹	鞋	竟	頌	頭	頷	頽	顆	顯	顰				
81	04	05	06	08	11	13	14	18	20	22	27	28	29	33	37
	颪	颯	颱	飄	飩	餃	餉	餡	餞	餅	饉	饉	饅	饒	馘
	38	39	44	45	49	57	58	59	62	63	64	65	68	70	71
	馥	馭	駝	駘	駱	騙	騫	騒	騖	驃	驟	驕	験	驢	驤
	78	79	80	81	83	87	89	91	92	94					
	骼	髀	髏	髑	體	髣	髯	髪	髴	髷					
82	03	04	06	10	16	17	18	19	20	21	25	26	29	31	35
	鬘	鬚	鬢	鬩	魄	魃	魏	魍	魎	魑	鮃	鮑	鮫	鮨	鮪
	45	47	48	52	53	54	55	56	57	59	62	64	65	69	71
	鯵	鯱	鯰	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰹	鰯	鰐	鰺	鱚	鱧
	72	73	77	84	88	89									
	鱶	鱸	鴉	鴬	鴕	鴇									
83	02	06	08	11	12	17	20	21	32	34	42	45	47	51	53
	鵞	鵙	鵜	鵯	鵺	鶏	鶲	鶺	鸚	鸞	麒	麝	麩	麻	黎
	64	72	76	77	78	82	86								
	黴	鼈	鼬	鼾	齊	齟	齧								
84	01	02	03												
	堯	槇	遙												

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

	コード														
85	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15
	鷗	葛	祇	麹	鯖	錆	繍	驒	琢	啄	樽	塚	摑	塡	澪
	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
	醱	﨑	棄	濵	髙	吉	槞	昇	桝	榊	彎	捗	醤	麺	

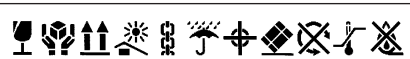
記号一覧表

!!注意!!

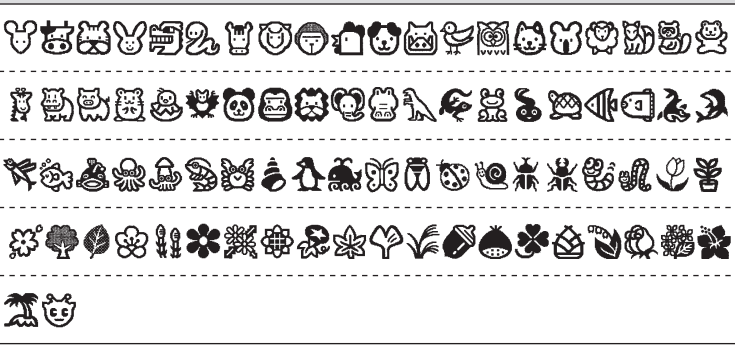
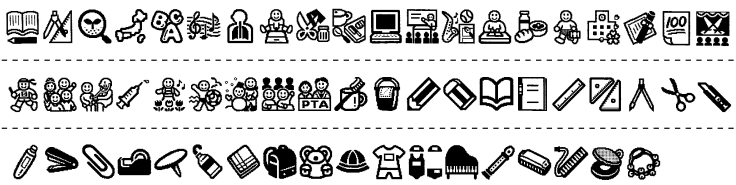
記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

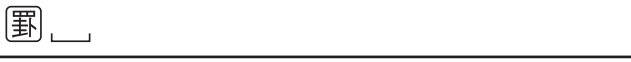
分　類	記　号
記　述	、。，．・：；？！ー－／＼～＠˜＿§†‡
	ヽゞゝゞ〃仝々〆……※＊
省　略	＃№＆〒㊙©®㊙㊞㊚㊟㊣㊦㊐㊒㊗㊡㊢㊤㊥㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰
	㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰℡FAX♀♂
カッコ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】
矢　印	→←↑↓↘↖↗↙➡⬅⬆⬇↔↕☞☜☝☟
○△□☆	○●◎△▲▽▼◇◆□■☆★◇◆♤♠♡♥♧
	♣
単　位	％‰㎛㎜㎝ｍ㎞ft㍄㎠㎡ａ㏊㎢㎤㎥㎎ｇ㎏ｔ
	㏄㎖㎗ℓ㎘㏖￥㈱$€£Fr¢ＡＶΩＷkWHzdB
	HPÅ＠°′ ″℃°FPtct
算　数	＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴≡≒√∽∧∫
数　字	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳
	○一二三四五六七八九ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ
	ⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ１２３４５６７８９０
	１２３４５６７８９０＋－½⅓⅔¼¾

付録

分　類	記　号
2桁数字	00～99
年号	'00～'99
公共表示	
環　境	
荷　物	
警告用	
仕　事	
スポーツ	
遊　び	
ビデオ	
音　楽	

付録

分　類	記　号
生き物	
乗り物	
食べ物	
予　定	
暮らし	
学　校	
シーズン	

分　類	記　号
顔	
星　座	
ギリシャ	Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω
欧　州	ä ë ï ö ü Ä Ë Ï Ö Ü á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò ù À È Ì Ò Ù â ê î ô û Â Ê Î Ô Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ¿ ¡
編　集	

付録

ローマ字変換表

あ	あ A	い I YI	う U WU	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU QU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI I	ゆ YU	いぇ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん	ん N＋(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) (例) N＋N→ん　N＋P→んP　N＋「'」→ん				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
きゃ	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ	ちゃ TYA CHA CYA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CHU CYU	ちぇ TYE CHE CYE	ちょ TYO CHO CYO
てゃ	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
にゃ	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
みゃ	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO

りゃ	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO
くぁ	くぁ QA	くぃ QI QWI KWI	くぅ QWU KWU	くぇ QE QWE KWE	くぉ QO QWO KWO
ぐわ		ぐぃ GWI	ぐぅ GWU	ぐぇ GWE	ぐぉ GWO
つぁ	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
でゃ	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ふぁ	ふぁ FA	ふぃ FI FYI		ふぇ FE FYE	ふぉ FO
ふゃ	ふゃ FYA	ふぃ FYI FI	ふゅ FYU	ふぇ FYE FE	ふょ FYO
ヴぁ	ヴぁ VA	ヴぃ VI VYI	ヴ VU	ヴぇ VE VYE	ヴぉ VO
ヴゃ	ヴゃ VYA		ヴゅ VYU		ヴょ VYO
ぁ	ぁ LA	ぃ LI LYI	ぅ LU	ぇ LE LYE	ぉ LO
か	か LKA			け LKE	
っ	っ LTU 同一の子音＋子音＝っ＋子音 (L、N、X以外有効) 二重子音CHについては、 TCH＝っCHに変換。				
ゃ	ゃ LYA		ゅ LYU		ょ LYO
わ	わ LWA				

付録

おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式（68鍵） 文字ボタン48、機能ボタン20
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック（ABC入力時のみ）、記号入力、 コード変換入力（区点コード・JISコード・シフトJISコード）
漢字変換方式	学習機能付き最長一致熟語／単漢字変換方式 熟語変換辞書 約63,000語（熟語学習容量 約20語） 単漢字変換辞書 約10,000語（単漢字学習容量 約30語）

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	102dot×32dot（6chr×2line）
表示濃度	-5～ふつう～+5（11段階）
インジケーター	26個

■記憶

文章メモリー	約125文字（限定バックアップ付き）
内蔵ファイル	約125文字/2ファイル

■フォント

内蔵文字数	全5,196文字 漢字 JIS第1水準2,965文字 漢字 JIS第2水準1,121文字 漢字 その他29文字 英数字・記号・その他1,081文字
内蔵フォント	ビットマップフォント ゴシック体　：漢字書体・かな書体・英数書体 明朝体　：漢字書体・かな書体・英数書体 ハッピ体　：かな書体 スクリプトBR体　：英数書体

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～ふつう～+3（7段階）
ヘッド構成	薄膜サーマルヘッド・128dot、180dpi （印刷ドット構成　96dot）
テープ幅検出	Pテープ規格検出孔対応
テープカートリッジ	Pテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、 耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18mm幅
カッター	オートカッター
転写テープ検出	対応

■印刷機能

文字構成	6段階6種
	P字　16×16dot　（ 6ポイント相当）
	S字　24×24dot　（10ポイント相当）
	M字　32×32dot　（13ポイント相当）
	L字　48×48dot　（19ポイント相当）
	G字　64×64dot　（26ポイント相当）
	U字　96×96dot　（38ポイント相当）
	※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。

■電源、その他

主電源	AC100V（同梱ACアダプタAC0615J使用のこと）
補助バッテリー	単3形アルカリ乾電池×6
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする
寸法・重量	約183W×216.6D×60.2H（mm）
	約600g（電池、テープカートリッジを除く）
同梱品	試用PROテープカートリッジ（12mm幅）
	ACアダプタ（AC0615J）
	転写スティック（SR9L）
	取扱説明書
	保証書
別売品	PROテープカートリッジ
	ヘッド・クリーニングキット（RC15）
	ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）
	トリマー（RT36W）
	ハーフカッター（RH24）
	ラベルラミネーター（RL18）
	システムトランク（SR9BTN）
	システムバッグ（SR8B）
	システムケース（SR9H）
	テープカートリッジケース（SR4TH）

■使用条件

温度環境	動作時	10℃ ～ 35℃
	保存時	－10℃ ～ 55℃
湿度環境	動作時	30% ～ 80%（非結露）
	保存時	5% ～ 80%（非結露）

索引

記号

■□（印刷不可行頭マーク）..... 20、44
←↑↓→（カーソルボタン）..... 19、42
1 2（空白行頭マーク）..... 20、44
罫（罫入力記号）..... 64
■ ■（実質行頭マーク）..... 20、44
␣（全角スペース）..... 36
␣（半角スペース）..... 36
◀（フルメモリーマーク）..... 20
▶（文字モード指定マーク）..... 20、55

英数字

2桁数字（記号）..... 51
8mmビデオ（定長印刷）..... 61
A4ファイル（定長印刷）..... 61
ABC入力..... 35
ACアダプタ..... 10、22
ACアダプタ差込み口..... 16
B5ファイル（定長印刷）..... 61
CDケース（定長印刷）..... 61
FD・MO（定長印刷）..... 61
JISコード..... 70
MD（定長印刷）..... 61
記号/罫線..... 18
VHS（定長印刷）..... 61

あ

あ/ア/A 変換..... 19
アイロン転写テープ..... 83
アイロンラベル..... 83
後揃え（割付け）..... 65
印刷/データ呼出..... 18、39
印刷..... 39
印刷イメージ..... 38
印刷濃度（環境設定）..... 71、72
印刷不可行頭マーク（■□）..... 20、44
インジケーター..... 20
上カバー..... 16、24
上カバーつまみ..... 16
英数字..... 35
英数書体（書体）..... 66
エラーメッセージ..... 85
オートカッター..... 73
オート・パワーオフ..... 26
送りカット（テープ送り）..... 27
おまかせフォーマット（文字サイズ）..... 63
終わり？（機能）..... 54
　段落スタイル..... 59
　文章書式..... 57
　文字モード..... 60
音楽テープ（定長印刷）..... 61

か

カーソル..... 20、42
　～の位置（機能）..... 53
カーソルジャンプ..... 19
カーソルボタン（←↑↓→）..... 19、42
改行..... 44
　～を取り消す..... 45
改段落..... 19、46
鏡文字..... 62
鏡文字印刷（文章書式）..... 53、62
確定文字..... 20
各部の名前..... 16
影文字（飾り字）..... 67
飾り字（文字モード）..... 53、67
カタカナ..... 19、31
カッター..... 73
カット（自動カット）..... 73
カットマーク..... 62
かな書体（書体）..... 66
かな入力..... 31
画面..... 20
環境..... 18、71
環境設定..... 71
　～メニュー一覧..... 71
漢字
　～に変換..... 33
漢字書体（書体）..... 66
漢字変換..... 19
漢字変換表..... 93
記号..... 18
記号..... 32、37
　～一覧表..... 99
　～メニュー一覧..... 81
機能の説明
　段落スタイル..... 63
　文章書式..... 61
　文字モード..... 66
行..... 44
鏡像..... 62
強調（飾り字）..... 67
行頭マーク（■■･･･■、1 2･･･□）..... 20、44
極少（余白）..... 62
均等（文字サイズ）..... 63
均等割（割付け）..... 64
空白..... 36
空白行頭マーク（1 2）..... 20、44
区点コード..... 70

付録

クリーニングテープ……91
グレー文字ラベル……83
罫入力記号（罫）……64
候補（漢字変換）……30
コード入力……19、70
固定フック……16
小文字ロック……19

さ

サイズ（文字サイズ）……63
削除改行……18
削除……43
システムケース……11
システムトランク……11
システムバッグ……11
実質行頭マーク（1 2）……20、44
指定範囲（機能）……53
自動（英数書体）……66
自動（かな書体）……66
自動カット……39
　～しない……73
自動カット（環境設定）……71、73
シフト……19
シフトJISコード……70
地紋印刷（文章書式）……53、61
斜体（飾り字）……67
仕様……104
消去……18、43、47
　～メニュー一覧……82
消去（ファイル）……69
上質紙ラベル……83
初期化……76
初期値……74
書式……18、53
書体（文字モード）……53、66
白抜き（飾り字）……67
白抜影（飾り字）……67
スタイル……18、53
スペース……19、36
正像……62
全角スペース（　）……36
選択改行……19
全文消去（消去）……43
促音……32
外枠（外枠・表組）……53、64
外枠・表組（段落スタイル）……53、64

た

耐熱ラベル……83
濁音……32
たて書き……50、65
縦・横……18、50
縦・横……50
縦・横（段落スタイル）……52、65
段落……46
　～を消去する……47
　～を分割する……47
段落スタイル……53、63
　～メニュー一覧……58
蓄光ラベル……83
ディスプレイ……16、20、72
ディスプレイ濃度……72
定長印刷（文章書式）……53、61
テープ送り……18、27
　～メニュー一覧……82
テープカートリッジ……10、24、83
　～をセットする……24
　～を使い分ける……83
テープカートリッジケース……11
テープカートリッジセット部……16
テープ確認窓……16
テープ通路……16、24
テープ出口……16
テープ幅……44、63
テキスト画面……20
デモ印刷……78
電源
　～を入れる……26
　～を切る……41
電池……22
電池カバー……17、22
電池ケース……17
同梱品……10
透明つや消しラベル……83
登録（ファイル）……68
トリマー……11

な

中揃え（割付け）……65
編集……18
入力文字一覧表……92
ネガ文字……20
熱収縮チューブ……83
濃度……72

は

ハーフカッター……11
範囲は？……59
半角スペース（␣）……36
半濁音……32
ハンドル……16
表組み（外枠・表組）……53、64
表示濃度（環境設定）……71、72
ひらがな……19、31

付録

ファイル ..... 18、69
ファイル ..... 18、68
～メニュー一覧 68
～を消去する 69
～を登録する 68
～を呼び出す 69
ふつう（飾り字） 67
ふつう（文字間） 67
フルメモリーマーク（◀） 20
プレビュー ..... 18、38
プレビュー 38
文章
～を消去する 43
～を入力する 42
～をファイルする 68
文章書式 ..... 53、61
～メニュー一覧 57
ヘッド・クリーニングキット ..... 11、90
ヘッド・クリーニングテープ ..... 11、91
別売品 11
変換スペース 19
変換 33
変換画面 30
保存値（環境設定） ..... 71、74
～復元 75
～変更する 75

ま

前揃え（割付け） 65
マグネットテープ 83
マスキングテープ 83
密着（文字間） 67
ミニDV（定長印刷） 61
カンアイ変換（無変換） 19
メニュー一覧 80
環境設定 71
記号 81
消去 82
段落スタイル 58
テープ送り 82
ファイル 68
文章書式 57
文字モード 60
モード ..... 18、53
文字
～を削除する 43
～を挿入する 43
～を入力する 42
文字間（文字モード） ..... 53、67
文字サイズ ..... 18、52
文字サイズ（段落スタイル） ..... 53、56、63
文字入力 30
文字変換 19
文字ボタン 19
文字モード ..... 53、66
～メニュー一覧 60
文字モード指定マーク（▶） ..... 20、55

や

有効範囲（機能） 53
拗音 32
よこ書き ..... 50、65
余白（文章書式） ..... 53、62
呼出（ファイル） 69
読み 33
読み短縮 ..... 19、34

ら

ラベルラミネーター 11
りぼん 83
ローマ字入力 31
ローマ字変換表 103

わ

割付け（段落スタイル） ..... 53、65

付録

アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中の AC アダプタ·テープカートリッジなど一式と保証書を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品を**お買い上げ販売店**、または**「テプラ」取扱店**までお持ちください。
なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、**お買い上げ販売店**、**「テプラ」取扱店**または**当社お客様相談室**にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　　ナットクのパートナー
お客様相談室　0120-79-8107

FAX からの場合　0120-79-8102
携帯電話からの場合　0570-06-4759
※通話料お客様負担
受付時間：平日（月曜日～金曜日）　午前 9 時～午後 5 時 30 分

「テプラ」PRO SR250 取扱説明書

2012 年　3 月　第 2 版

株式会社キングジム

〒 101-0031　東京都千代田区東神田二丁目 10 番 18 号

SR250
取扱説明書

KING JIM

・お問い合わせ

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107
受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9時～午後5時30分
ホームページアドレス http://www.kingjim.co.jp/

©2011 Printed in China 07-②